プロフィール（2026年5月末日現在）

名　　称／株式会社 福井銀行
　　（The Fukui Bank, Ltd.）
本店の所在地／〒910-8660
　　福井県福井市順化1丁目1番1号
　　電話 0776（24）2030（代表）
　　URL https://www.fukuibank.co.jp/
設立年月日／1899年12月19日
資　本　金／179億65百万円
従業員数／1,633名
　　（出向者、嘱託及び臨時職員含めず）

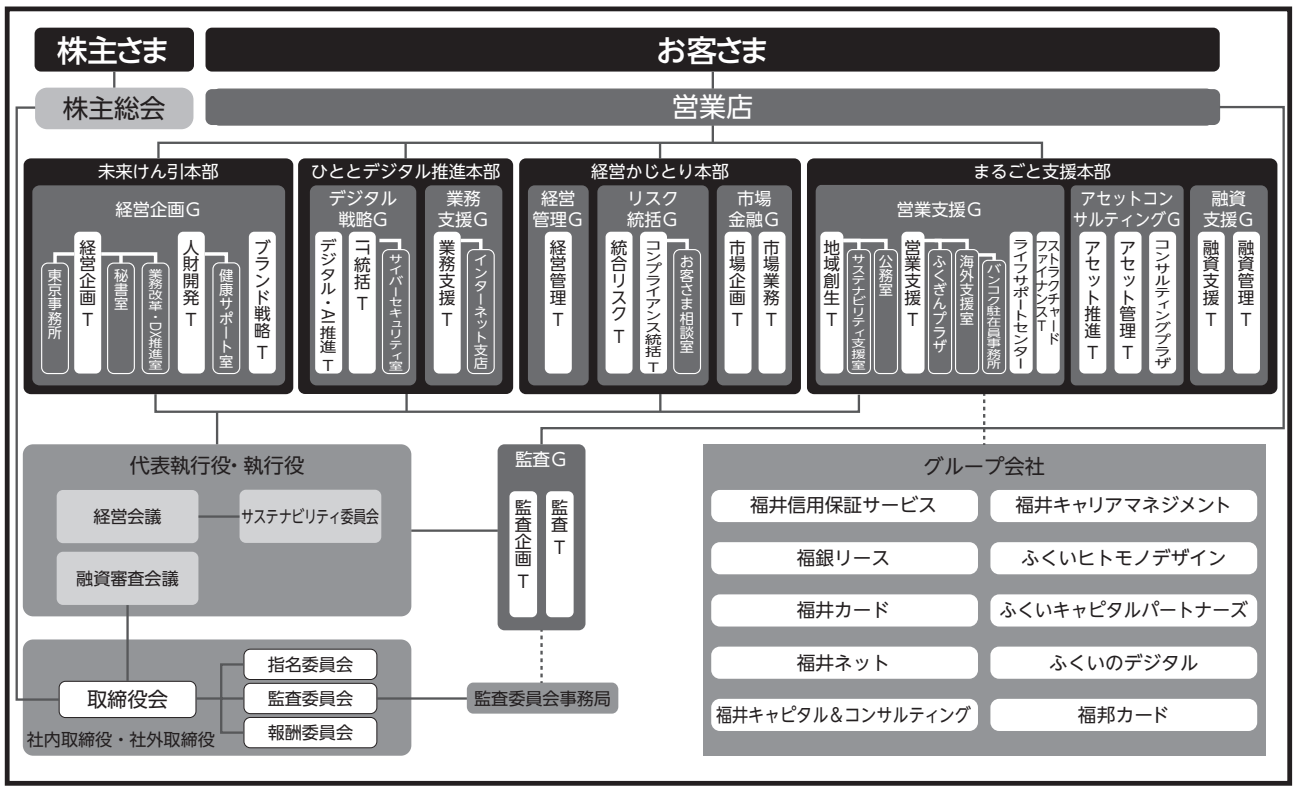
店　　舗／有人店舗数　83か店
　　店舗内店舗数　50か店
　　その他　2か店
　　合計　135か店
　　※店舗内店舗：他の当行店舗内に併設移転した店舗
　　※その他：振込専用支店、ジュラチック王国支店（インターネット支店）
　　店舗外自動機設備　48か所
　　（ATM運営会社・セブン銀行との共同設置を除く）

主要な業務の内容

●預金業務　預　金…当座預金、普通預金、決済用普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、財形預金、定期積金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取り扱っております。
　譲渡性預金…譲渡可能な定期預金を取り扱っております。
●貸出業務　貸　付…手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取り扱っております。
　手形の割引…商業手形、銀行引受手形及び荷付為替手形の割引を取り扱っております。
　電子記録債権の割引
●商品有価証券売買業務…国債等公共債の売買業務を行っております。
●有価証券投資業務…預金の支払準備及び資金運用のための国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。
●内国為替業務…送金為替、振込及び代金取立等を取り扱っております。
●外国為替業務…輸出、輸入及び外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。
●社債受託及び発行・支払代理人業務…担保附社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び発行・支払代理人に関する業務を行っております。

●付帯業務　代理業務…①日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店及び国債代理店業務
　②地方公共団体の公金取扱い業務
　③勤労者退職金共済機構等の代理店業務
　④株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務
　⑤日本政策金融公庫及び住宅金融支援機構等の代理貸付業務
　⑥信託代理店業務
　⑦保険代理店業務
保護預り及び貸金庫業務
有価証券の貸付
債務の保証（支払承諾）
金の売買
公共債の引受
国債等公共債及び証券投資信託の窓口販売
保険の窓口販売
クレジットカード業務
コマーシャル・ペーパー等の取扱い
金融商品仲介業務
M&A関連業務
確定拠出年金の運営管理機関業務
金利・通貨等のデリバティブ取引
相続関連サービスの媒介

組織図（2026年6月末日現在）



グループ会社（2026年5月末日現在）

当行グループ（当行及び当行の関連会社）は、当行及び連結子会社10社、非連結子会社3社で構成され、銀行業務を中心に総合的な金融サービスの提供に係る事業等を行っております。

当行グループの事業に係る位置付けは次のとおりであります。

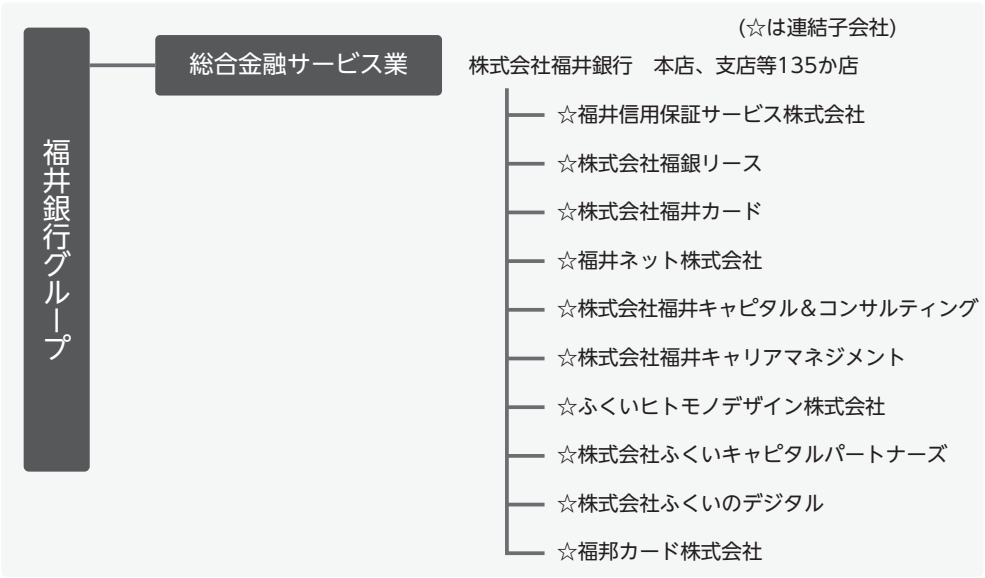
〔総合金融サービス業〕

当行の本店、支店、出張所の135か店において、預金業務、貸出業務、内国為替業務、外国為替業務、国債・投資信託・個人年金保険等の販売業務等を行い、地域の金融パートナーとして、様々な商品・金融サービスの提供に積極的に取り組んでおり、当行グループの中心的業務と位置付けております。

連結子会社の株式会社福井キャピタル＆コンサルティング、福井信用保証サービス株式会社、株式会社福銀リース、株式会社福井カード、福邦カード株式会社、福井ネット株式会社、株式会社福井キャリアマネジメント、ふくいヒトモノデザイン株式会社、株式会社ふくいのデジタル、株式会社ふくいキャピタルパートナーズにおいても、コンサルティング業務、投資事業組合財産の管理・運用業務、保証業務、リース業務、クレジットカード業務、当行のコンピュータ関連業務、労働者派遣業務、有料職業紹介業務、旅行業法に基づく旅行業務、地場産品・地域資源・地域ブランド品等の販売業務、スマートフォンアプリケーションソフトの企画・管理・運営業務等の総合金融サービス業務を展開しております。

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。

●事業系統図



●グループ会社の概況

名称	所在地	資本金(百万円)	主な事業内容	設立年月日	議決権の所有割合(%)
(株)福銀リース	福井市照手1丁目2番17号	50	リース業務	1983年9月16日	100.00
福井信用保証サービス(株)	福井市順化1丁目3番3号	50	住宅ローン等の保証業務	1982年11月6日	100.00
(株)福井カード	福井市順化1丁目3番3号	30	クレジットカード業務	1986年8月5日	100.00
福井ネット(株)	福井市春日町238番3号	40	コンピュータ関連業務	1997年4月21日	100.00
(株)福井キャピタル&コンサルティング	福井市順化1丁目1番1号	50	ファンド運営業務 コンサルティング業務	2015年7月1日	100.00

名称	所在地	資本金(百万円)	主な事業内容	設立年月日	議決権の所有割合(%)
(株)福井キャリアマネジメント	福井市順化1丁目1番1号	50	労働者派遣業務 有料職業紹介業務	2021年11月12日	100.00
ふくいヒトモノデザイン(株)	福井市順化1丁目1番1号	90	旅行業務 物品販売業務	2022年7月28日	100.00
(株)ふくいのデジタル	福井市順化1丁目1番1号	100	アプリの企画・管理・運営業務	2022年9月5日	50.00
(株)ふくいキャピタルパートナーズ	福井市順化1丁目1番1号	70	ファンド運営業務 コンサルティング業務	2023年10月6日	100.00
福邦カード(株)	福井市順化1丁目3番3号	30	クレジットカード業務	1990年5月31日	(100.00)

(注)「議決権の所有割合(%)」欄の(　)内は、間接所有の割合(内書き)であります。

安心と信頼

みなさまから安心・信頼される銀行を目指して ―――― 福井銀行の実績と取組み

内部統制の整備の状況

福井銀行では、取締役会において、会社法に基づく業務の適正を確保する体制として、監査委員会の職務執行のために必要な事項、執行役の職務執行の適法性・適正性を確保するために必要な体制等について決議し、内部統制を確保する体制を整備しております。

また、金融商品取引法で求められる財務報告に係る内部統制については、「財務報告に係る内部統制の基本方針」及び「財務報告に係る内部統制規程」を制定し、財務報告の信頼性の確保に努めております。なお、2026年3月末時点における当行の財務報告に係る内部統制は有効であると判断いたしました。

コンプライアンス（法令等遵守）への取組み

コンプライアンス基本方針

福井銀行では、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つと位置付け、「コンプライアンス基本方針（5つの原則）」を取締役会にて決定し、法令等遵守態勢の強化を図るとともに、役職員に対するコンプライアンスの徹底に努めております。

○「コンプライアンス基本方針」
1. 自己コントロール能力向上の原則
2. 情報開示の原則
3. 透明で適正な意思決定の原則
4. お客さま本位の営業の原則
5. 反社会的勢力との断固対決の原則

コンプライアンス体制

頭取をコンプライアンス統括責任者とし、「経営会議」において重要事項の審議、決定及び報告を行うとともに、コンプライアンス態勢の実効性を評価し、問題点等を改善しております。

また、コンプライアンス体制を規定し、守るべき法令や行動規範及び対応等を「コンプライアンスマニュアル」に示し、「コンプライアンス・プログラム（具体的な実践計画）」を毎年策定し実践しております。

具体的な取組み

営業店・本部の全部署にコンプライアンス責任者・担当者を任命し、全職員に対してコンプライアンスチェックリストによる遵守状況の自己検証、コンプライアンス責任者・担当者による個人面談と勉強会を定例的に実施し、コンプライアンス意識の醸成と向上を目指した取組みを行っております。

リスク統括グループコンプライアンス統括チームを統括部署として、コンプライアンスに関する情報の一元管理を行い、コンプライアンス違反の未然防止と態勢の強化を図っております。

また、公益通報者保護法に則った「相談・報告制度」を整備し、行内窓口以外にも顧問弁護士による外部の通報窓口やハラスメント相談窓口を設置することで、組織の自浄機能を高めております。

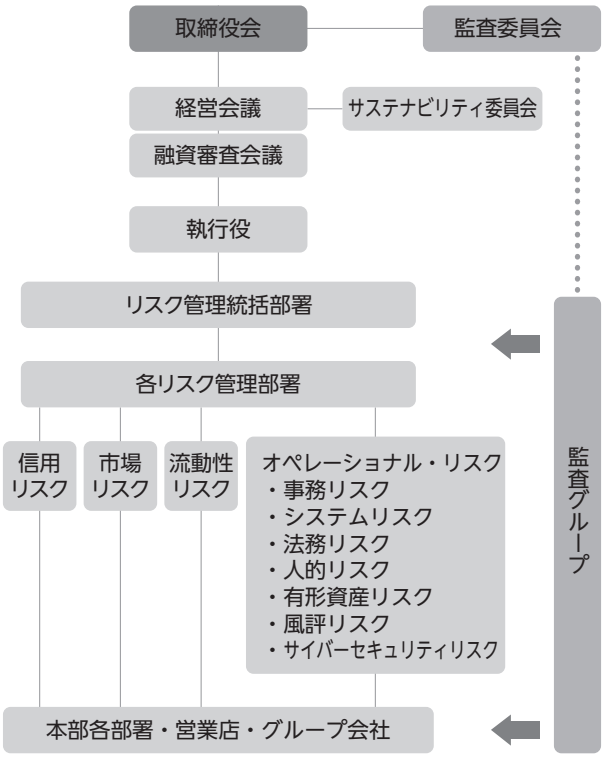
反社会的勢力排除及びマネー・ローンダリングへの対応

福井銀行では、反社会的勢力との関係遮断を行っていくことや、マネー・ローンダリング等を防止していくことは、企業としての社会的責任を果たし、また各ステークホルダーからの信頼を維持し、経営の健全性等を確保していくためには必要不可欠なものと考えております。組織としての方針を明確にするため、「反社会的勢力への対応にかかる基本方針」及び「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止の基本方針」を制定し、各種対策を実施しております。

リスク管理体制

金融情勢が変化し、銀行が抱える各種リスクも多様化・複雑化する中、経営の健全性及び収益の安定性を確保していくために、当行グループはリスク管理態勢の強化を重要な経営課題として位置付け、継続的に態勢整備を実施しております。具体的にはリスクの統括部署及びリスクカテゴリーごとにリスク管理部署を設置し、管理プロセスを確立させ、継続的かつ効果的なリスク管理を実施しております。

なお、事業計画の達成に向けてどのようなリスクをどの程度まで引き受けるかを経営の意思として明示する「リスクアペタイト・フレームワーク（RAF）」を経営管理の基本的な枠組みとして位置付け、顕在化した場合に経営に重大な影響を与えるリスクを「トップリスク」として経営者が主体的に特定・管理することで、実効性のあるリスク管理態勢の構築・強化を進めております。



リスク管理の基本方針

当行グループでは、取締役会で決定した「リスク管理の基本方針」に、以下の基本方針を定めております。

当行は、収益機会の獲得及び拡大につながるリスクを適切にとりながら収益力の強化に努めると同時に、経営体力を損ねることのなきよう適切なリスク管理に努め、地域における金融システムの担い手として健全かつ収益力の高い経営を行わなければならない。

その実現のために、個々のリスク管理の態勢整備に加え、それらを統合的に把握し管理する統合的リスク管理の態勢整備を行うことを通じて、業務の健全性及び適切性の確保を行うことをリスク管理の基本方針とする。

統合的リスク管理

「統合的リスク管理」とは、各種業務で発生する様々なリスクをその要因別に「信用リスク」「市場リスク」「流動性リスク」「オペレーショナル・リスク」等のカテゴリー毎に評価し、それらを総体的に捉えた上で、経営体力と比較・対照することで自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

当行グループでは、VaR（バリュー・アット・リスク）を用いて各リスクを計量化し評価・コントロールする「量的管理」と、VaRによらない個別の方法で各リスクを質的に評価・コントロールする「質的管理」の両方を行うことで、統合的なリスク管理を行う態勢を整えております。

「量的管理」では、リスク資本制度に基づいて「経営会議」でリスクカテゴリー別に配賦する資本額（リスク資本）の決議を行い、その範囲内にそれぞれのリスク量（VaR）をコントロールすること

で、全体のリスクを経営体力の範囲内におさめる「統合リスク管理」の手法を用いております。

なお、金利リスクは一般的には市場リスクの中に含まれるものですが、当行グループではその運用・調達の目的の違いを考慮し、有価証券勘定の金利リスクと預貸金勘定の金利リスクに分けた管理を行い、預貸金勘定の金利リスクは独立してリスク資本を配賦する方法を採用しております。

信用リスク管理

「信用リスク」とは、信用供与先の財務状況の悪化等により、銀行の資産（オフバランス資産を含む）の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいいます。

当行グループでは、信用リスクは業務運営において不可避のリスクであり、かつ迅速な対応が必要であることを十分認識した上で、信用リスクをコントロールできる態勢を築くことを目指しております。とりわけ、与信集中リスクについては、信用リスクの集中を回避し、バランスのとれた与信ポートフォリオを構築するため、「与信集中リスク管理基準」を制定し、与信集中リスクの把握・改善に取り組んでおります。

また、信用供与にかかるリスクを客観的かつ計量的に把握するため、「信用リスク計測基準」を制定し「信用リスクの計量化」に取り組んでおります。

なお、計測した信用リスク量については信用格付別・業種別・地域別などの信用リスクの状況を評価・分析するとともに、「リスク資本制度」のもとでリスク量による量的な管理、コントロールを行っております。

市場リスク管理

「市場リスク」とは、金利、為替、株式等の様々な市場のリスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフバランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクをいい、主として「金利リスク」「為替リスク」「価格変動リスク」があります。

当行グループでは、市場リスク管理をALM（資産・負債の総合的管理）の一環として位置付け、自己資本、収益力、預貸動向や有価証券保有状況等を踏まえた上で、リスクとリターンのバランスを適切に保つことを方針としております。

具体的には、預金、貸出金、有価証券等の資産・負債について銀行勘定の金利リスクに基づき、金利リスク量をコントロールしております。市場投資部門における市場リスクについては、半期毎に「経営会議」において「有価証券運用計画」を審議した上で、ポジション枠や損失限度を設定することで市場リスク量を一定の範囲内にコントロールしております。

また、市場関連取引の相互牽制のために、市場リスクの管理部署（ミドル・オフィス）は、フロント・オフィス、バック・オフィスとは組織的に分離し、日次でリスクの状況をモニタリングしております。

流動性リスク管理

「流動性リスク」には、①運用と調達の期間のミスマッチや予期せぬ資金の流出により必要な資金確保が困難になる、又は通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスクである「資金繰りリスク」、②市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされたりすることにより、損失を被るリスクである「市場流動性リスク」、③対外決済において資金又は資産を予定どおり受け取れなくなることにより損失を被るリスクである「決済リスク」が含まれます。

流動性リスクは、これら資金繰りリスク、市場流動性リスク、決済リスクの3つのリスクを総合したリスクですが、市場流動性リスク、決済リスクは最終的に資金繰りリスクに帰結するものであり、資金繰りリスクの管理が重要な経営課題であると捉えております。

当行グループでは、組織的に独立したフロント・オフィス、バック・オフィス、ミドル・オフィスを設置することで、相互牽制を図りながら資金繰りリスクの管理を行っております。

具体的には、資金繰りの状況に応じて、「平常時」「懸念時」「危機時」の区分を設定し、それぞれの区分に応じた管理手法、報告体制、決裁方法を整備しております。また、短期間で資金化可能な資産を一定額以上確保する流動性準備高の管理を通じたモニタリングを行っております。

オペレーショナル・リスク管理

「オペレーショナル・リスク」とは、金融機関の業務のプロセス、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、又は、外部で発生した出来事等により、損失を被るリスクをいいます。

当行グループでは、オペレーショナル・リスクを①事務リスク、②システムリスク、③法務リスク、④人的リスク、⑤有形資産リスク、⑥風評リスク、⑦サイバーセキュリティリスクの7つに分類して管理しております。リスクカテゴリーごとの管理部署とオペレーショナル・リスクの総合的管理部署は、定期的にリスクコミュニケーションを行い、管理状況について共有しております。コミュニケーションで共有した現状や課題等については、担当執行役及び経営会議等に報告しております。

当行グループでは、オペレーショナル・リスクの増加が、銀行業務の堅確性を低下させ、ひいては株主のみなさま、お客さまの当行グループへの信頼を低下させるものであるとの認識に立ち、リスク発生の未然防止及び発生時の影響極小化に努めております。

＜事務リスク管理＞

「事務リスク」とは、福井銀行の役職員が正確な事務を怠ること、あるいは事務処理の遂行の過程で不正行為を犯すことや事故を起こすことにより、損失を被るリスクをいいます。

当行グループでは、事務管理態勢の充実強化を図り、厳正に事務を行うための内部環境の整備に取り組んでおります。

具体的には、以下のような枠組みにより事務リスクの管理を行っております。事務ミス情報、事務事故情報、内外監査等の指摘内容及びリスクに関する主な指標の収集を行い、傾向分析、原因分析を行っております。分析結果に基づき、リスク軽減のための対策を検討し、事務フロー・事務処理規程・事務体制面の見直し、事務指導臨店、自店検査、教育・研修、事務機器の整備、システム化、営業店事務の本部集中化、ルール遵守の徹底などを行っております。

＜システムリスク管理＞

「システムリスク」とは、コンピュータシステムのダウン又は誤作動等システムの不備等に伴い損失を被るリスク、コンピュータシステムが不正に使用されることにより損失を被るリスクをいいます。

お客さまに質の高い金融サービスを提供していくためには、これらのシステムリスクを回避し、コンピュータシステムを安全かつ安定して稼動させることが必要不可欠であり、当行グループでは、コンピュータシステムと保有する情報の適切な保護に努めております。

具体的には、主要機器及びネットワークに関しては常時稼動監視を行っており、障害発生時には自動的にバックアップに切替えるなど、ソフト面ハード面の両面での対応を実施しております。

今後も情報技術の高度化やネットワークの拡大に伴い、システムリスクの多様化・複雑化が予想されますが、引き続き適切な対策を講じることにより、コンピュータシステムの安全で安定した稼動に努めてまいります。

＜法務リスク管理＞

「法務リスク」とは、法令等の遵守状況や顧客保護等が十分でないことにより損失を被るリスク、訴訟等への対応が不十分なことにより損失を被るリスク、及びこれに類するリスクをいいます。

当行グループでは、法令等遵守態勢の整備、お客さまからのご意見を適時・適切に反映させる仕組みを通した顧客保護等管理態勢の整備と、これら態勢整備にかかる検証を通して、態勢不備に起因する事象、損失、損害の迅速かつ適切な把握・分析を行い、法務リスクの削減に努めております。

＜人的リスク管理＞
「人的リスク」とは、報酬・手当・解雇等、人事運営上の不公平・不公正から発生する問題により、損失・損害を被るリスクをいいます。
当行グループでは、人事運営上の不公平・不公正に基づく問題が発生することがなきよう、労務関連法規・法令を踏まえた人事制度の設定及び運用を通して、適切な労務管理・人員配置・研修・教育を継続的に実施し、人的リスクの削減に努めております。

＜有形資産リスク管理＞
「有形資産リスク」とは、地震、豪雨、豪雪などの災害等により、有形資産に毀損・損害が生じるリスクをいいます。
当行グループでは、災害等に起因する損害を最小限に抑えるために、内外の情報に基づき災害等の有形資産への影響を把握・分析することに努め、適切な保守・投資を継続的に実施し、資産の耐久性を保持することで、有形資産リスクの削減に努めております。

＜風評リスク管理＞
「風評リスク」とは、評判の悪化や風説の流布などで信用が低下することにより、損失・損害が生じるリスクをいいます。
当行グループでは、適切な情報開示の実施により経営の透明性を確保するとともに、本部と営業店との間の迅速な指示・連絡体制の確立を通して、風評リスクの削減に努めております。

＜サイバーセキュリティリスク管理＞
「サイバーセキュリティリスク」とは、情報通信ネットワークや情報システム等の悪用により、サイバー空間を経由して行われる不正侵入、情報の窃取、改ざんや破壊、情報システムの作動停止や誤作動、不正プログラムの実行やDDoS 攻撃等の、いわゆる「サイバー攻撃」により、サイバーセキュリティが脅かされるリスクをいいます。
当行グループでは、サイバー攻撃によるお客さまへの被害を防止し、安定したサービスを提供するため、サイバーセキュリティ管理態勢を構築し、サイバー攻撃に備えたセキュリティ対策及びサイバー攻撃を受けた場合の被害の拡大防止に努めております。

危機管理計画

銀行は、金融サービスの提供という社会機能維持に関わる事業者としての使命を有しております。福井銀行では、大規模災害等の危機発生時において、金融システム機能の維持に必要な業務の継続や早期再開を可能とするため、「危機管理計画」を策定しております。「危機管理計画」では、「常に人道的配慮を最優先に考えて行動する」「金融システムの維持に努めることにより、金融機関としての社会的責任を果たす」「地域社会や地域経済の早期の安定と回復に貢献する」ことを基本理念に掲げ、必要な体制整備を行うと同時に、定期的に訓練を実施するなど危機対応力の強化に努めております。

金融商品勧誘方針

福井銀行では様々な取扱金融商品の勧誘・販売にあたり、金融商品販売業者として遵守すべき「金融商品勧誘方針」を定め、店頭・ホームページに公表しております。
より一層のお客さまの福井銀行に対する信頼と金融商品に対するご理解をいただけるよう、「金融商品勧誘方針」を遵守した営業に努めております。

○わたしたちは、お客さまの知識、経験、財産の状況に照らし、また、お客さまの投資目的、運用期間などを十分考慮の上、適切な商品をお勧めいたします。
○わたしたちは、お客さまとお取引を行う際には、商品内容やリスク内容等について適切な説明や情報の提供に努め、不確実な事項について断定的判断を提供することや確実であると誤認させるおそれのあるような説明はいたしません。
○わたしたちは、お客さまの誤解を招くような勧誘や、不退去などの迷惑行為を行いません。また、お客さまの希望や了解がない限り、お客さまにご迷惑となる時間帯や場所での勧誘を行いません。
○わたしたちは、お客さまに対して適正な勧誘を行うため、行内研修体制を充実させ、商品知識の研鑽に努めます。

お客さまのお取引について、お気付きの点がございましたら、本支店窓口又は下記のお客さま相談室までお問い合わせください。

お客さま相談室：0120-291-011（平日9:00～17:00）

保険募集指針

福井銀行では、お客さまの幅広いニーズにお応えしていくために、生命保険・損害保険の取扱いを行っております。
お客さまに対して保険商品をお勧めする場合には、各種法令等を遵守し、公正な保険募集に努めております。

＜１．当行が募集を行う保険商品について＞
○当行が保険募集を行う際には、保険商品の引受保険会社名をお客さまに明示いたします。
○お客さまにお勧めする保険商品と同一種目の保険商品を当行が複数取扱いしている場合には、その商品名称や引受保険会社名についての情報を当該保険の保険募集時にご提供いたします。
○保険契約はお客さまと保険会社とのご契約となることから、保険契約の引受や保険金等の支払は、保険会社が行うこと等を保険募集時に説明いたします。
○引受保険会社が経営破綻した場合の取扱い等保険契約に関するリスクについても、保険募集時に説明いたします。

＜２．保険募集に関する当行の責任について＞
○当行では、保険募集に際しては、各種法令や監督指針等の遵守に努めております。
○万一、説明義務違反等の法令等に違反する保険募集を行ったことにより、お客さまに損害が生じた場合には、当行が募集代理店としての販売責任を負います。

＜３．ご契約後の当行対応について＞
○当行は、お客さまからの契約内容のご照会、保険募集に関する苦情・相談に対し、迅速かつ適切に対応いたします。
○ご相談の内容につきましては、当該保険契約の引受保険会社に連絡の上対応させていただく場合があります。また、保険金等の支払手続きに関する照会等を含む各種手続き方法につきましては、引受保険会社のコールセンター等をご案内させていただく場合があります。
○保険募集時のご説明内容やご契約締結後におけるお客さまからの苦情・ご相談に関する面談記録等を、ご契約期間中にわたって適切に管理し、お客さまのご要望にお応えできるよう努めてまいります。
○お客さまのお取引について、お気付きの点がございましたら、本支店窓口又は下記のお客さま相談室までお問い合わせください。

お客さま相談室：0120-291-011（平日9:00～17:00）

○募集代理店である当行が契約している銀行法上の指定銀行業務紛争解決機関は、一般社団法人全国銀行協会です。

連絡先　　全国銀行協会相談室
電話番号　0570-017109 又は 03-5252-3772

利益相反管理基本方針

福井銀行では、福井銀行又は福井銀行のグループ会社による取引きに伴いお客さまの利益が不当に害されることのないよう「利益相反管理基本方針」を定め、利益相反の管理を適切に行っております。「利益相反管理基本方針」の概要はホームページに公表しております。

契約している銀行法上の指定銀行業務紛争解決機関

福井銀行では、銀行に対する様々なご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付ける下記の銀行法上の指定銀行業務紛争解決機関と契約しております。

一般社団法人全国銀行協会
連絡先　全国銀行協会相談室
電話番号　0570-017109 又は 03-5252-3772

お客さま本位の基本方針

福井銀行は「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」を企業理念として掲げております。

この企業理念のもと、私たちがお客さまの安定的な資産形成のお役に立つため、資産運用関連の金融商品を取り扱う分野において、「お客さま本位の基本方針」（以下、基本方針）を定め、私たちはこれを遵守することにより、お客さま本位の業務運営を実践してまいります。

1.お客さま本位の業務運営の堅持
基本方針及びその取組状況を公表するとともに、基本方針の遵守状況や見直しの要否について定期的に検証してまいります。

2.お客さまの最善の利益の追求
金融商品を取り扱う者として高い専門性と倫理観を持つとともに、お客さまに対して誠実・公正に行動することにより、常にお客さまの最善の利益を追求することに努めてまいります。

3.お客さまの最善の利益の優先の確保
お客さまの最善の利益を優先することに努め、私たちの利益を不当に優先することや、それによりお客さまの利益を不当に害するといった、利益相反の発生が無いように、お客さま本位の業務運営のための態勢管理に努めてまいります。

4.お客さまからいただく手数料等の明確化
金融商品やサービスのご提供にあたり、お客さまからいただく手数料やその他の費用について、名目を問わず、その詳細と根拠についての透明性を高め、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かりやすく丁寧にご説明することに努めてまいります。

5.お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供
金融商品やサービスにおける基本的な利益・損失その他のリスク、ご負担いただく手数料等の取引条件や、ご提案する金融商品やサービスの販売対象となるお客さまの特徴、選定理由、経済環境・市場動向等、お客さまの様々な判断・比較・検討・気付き等に資する重要な情報を、各種資料を活用してお客さまが誤解無くご理解いただけるように、分かりやすく丁寧にご説明しご提供することに努めてまいります。

6.お客さまにふさわしいサービスのご提供
お客さまに寄り添った対話を通じて、金融商品に関するお客さまの知識や経験、お客さまの財産の状況や投資目的、ライフステージなどを十分に把握した上で、私たちが本当にお客さまにふさわしいと考えるご提案やお取引、お客さま意向に基づくアフターフォローなどのサービス活動のご提供に努めてまいります。また、それらのサービス活動の実践にかなうための、適切な商品ラインアップの整備に努めてまいります。

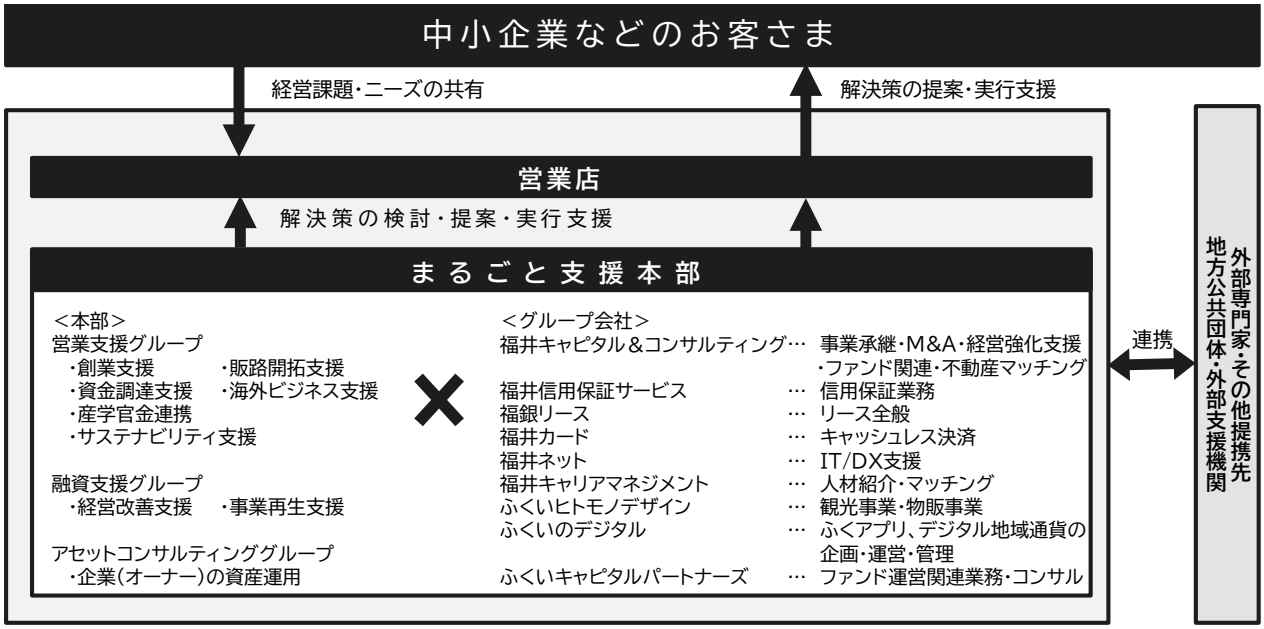
7.お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり
私たちが実践するお客さま本位の業務運営が、お客さまからのご理解やご評価をいただけるものとなるように、役職員に対し基本方針の周知徹底を図るとともに、お客さまの安定的な資産形成に寄与することができる人材の育成や役職員の評価制度の整備に、継続的に取り組んでまいります。

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組状況

態勢整備の状況

福井銀行は中小企業の経営支援において、地域やお客さまの多様なチャレンジに寄り添い、「地域価値循環モデル」の実現を目指しています。2026年度には福邦銀行との合併を迎え、より一層重要となる役割と責任を果たすため、「地域まるごと支援」の理念を軸に、営業店・本部・グループ会社が連携し、「地域の課題解決業」としてさらなる進化を遂げます。地域のすべてのお客さま［地域まるごと］が抱える幅広い課題［課題まるごと］をともに解決することで、心が動く「感動の瞬間」を共有していきます。

今後もこれまで培ってきた幅広いネットワークを活用し、サービスを提供する体制をさらに進化させていきます。福井銀行グループが持つ強みやノウハウを融合し、お客さまの期待を超える発想と行動で課題解決を全力で支援していきます。



（2026年6月末）

中小企業の経営支援に関する取組状況

地域の魅力度向上に向けて、本部・グループ会社の専門担当部署が中心となり、地域への貢献が見込まれる企業や地域発のスタートアップ企業に対する金融支援や情報連携（産学官金連携など）を推進しています。

創業・新規事業開拓支援

創業期のお客さまには、専用融資商品の導入、グループ会社や外部機関との連携、セミナー開催を通した情報提供などにより、支援の強化に取り組んでいます。

支援先数	**169先**
前年度比	＋　32先

（2025年度中）

○スタートアップ支援ファンド設立

投資専門子会社ふくいキャピタルパートナーズは、ベンチャーキャピタルファンド『愛称：ｍｉｎｏｒｉ～みのり～』を通じて積極的にエクイティを提供しています。

より明るい未来を実現すべく革新的アイデアを創造する起業家たちに伴走支援し、地域に根差したコミュニティへの参画を通じて、地域経済の発展に貢献するスタートアップ企業を育んでいきます。

ファンド概要

ファンド総額	10億円
投資対象	新規性、革新性のあるビジネスに取り組むスタートアップ企業
投資先数	2先

（2026年3月末）

成長支援

成長期、安定期のお客さまには、グループ会社や外部機関とのネットワークを活用したビジネスソリューションの提供、国内外の商談会やセミナーの開催を通したビジネスマッチングの機会や情報の提供、専門担当者の常同訪問や情報提供による海外ビジネスサポートなどにより、支援の強化に取り組んでいます。

ソリューション提案先数	**4,140先**
前年度比	＋　430先

（2025年度中）

○ビジネスマッチング・商談会の開催

本部・グループ会社の専門担当者がお客さまのニーズに対し、最適なマッチング先を選定し、ご紹介から商談成立まで営業店と本部が一体となって支援しています。

マッチング成約・商談会参加先数	**134先**
前年度比	▲　70先

（2025年度中）

○ＩＴ・デジタルの活用

・法人取引先向けＩＴ/ＤＸコンサルティング

業務のデジタル化や人材不足、業務の属人化などの課題を抱えるお客さまに対し、まずお客さまが目指す理想の姿をお伺いした上で、現状と理想とのギャップを正確に把握・整理し、最適なデジタルツールの選定から導入までを一貫して支援しています。

持続可能な成長を実現する上で、デジタル技術の利活用は不可欠です。私たちは、お客さまにとって最も身近な相談相手であると同時に、実際の導入支援まで担う伴走者として、グループ一体となって地域のＤＸ推進支援に取り組んでいます。

支援件数	**156件**
前年度比	＋　18件

（2025年度中）

・FUKUI DX FAIR 2025 タッチ・ザ・デジタル展示会

お客さまにデジタルツールを知るきっかけをリアルな展示会形式で開催しました。

来場者が直接デジタルツールに触れ、専門家と対話しながら、自社の業務改善に役立つソリューションを探す機会を提供しています。

業務デジタル化ツール提供ベンダー

来場者：416 社

○海外ビジネスサポート

世界を取り巻く環境が激しく変化する中、海外事業展開におけるアドバイザリー支援や海外商流開拓支援、為替ヘッジ等の外為実務支援など、お客さまの海外関連の課題解決に向け、海外支援室を中心に幅広い支援に取り組んでいます。

支援件数	**164 件**
前年度比	▲ 44 件

（2025 年度中）

・海外人材採用・人材育成支援

海外での事業展開には、各国の事情に精通したスタッフを確保することが欠かせません。当行は、各団体や大学と連携し、外国人留学生の採用や育成に向けたサポートを行っています。

合同企業説明会参加先数	**20 先**
前年度比	▲ 3 先

（2025 年度中）

○リース活用

福銀リースと連携し、リースを活用した設備導入・入替について、ＥＳＧ・省エネ分野などの関連補助金活用など、設備投資の合理化を支援しています。

支援件数	**1,202 件**
前年度比	＋ 40 件

（2025 年度中）

○補助金・助成金活用

「よろず支援拠点」などの外部専門機関と連携し、お客さまの事業の成長に向けて、ニーズにあった補助金・助成金に関する情報提供から申請手続きまでトータルで支援しています。補助金を受領するまでの期間のつなぎ資金のご融資も対応しています。

支援件数	**76 件**
前年度比	＋ 32 件

（2025 年度中）

○ＳＤＧｓ経営・脱炭素経営関連支援

国連が提唱する持続可能な開発目標ＳＤＧｓの趣旨に賛同し、地域社会の持続可能性に資する商品・サービスを提供しています。お客さまの事業活動とＳＤＧｓに対する活動を同時に支援することで、お客さまのSDGs目標達成を支援しています。

ＳＤＧｓ私募債引受 ＳＤＧｓ経営支援サービス ＧＨＧ排出量算定コンサルティング	**187 件**
前年度比	▲ 38 件

（2025 年度中）

○人材紹介・人材育成支援

近年、有効求人倍率は高いレベルで推移しており、福井県内においても人材に紐づく経営課題が多様化しています。経営幹部等のハイレベル人材やワーカー層の求人ニーズに加え、副業・兼業による専門人材ニーズも増加しています。

人材紹介に係るノウハウと情報を集約した福井キャリアマネジメントを中心に、提携人材紹介会社連携による外部人材活用や当行グループＯＢ・ＯＧ人材の紹介を通して、地域のお客さまの経営課題解決と持続的成長を支援することで地域経済の活性化に貢献しています。

支援件数	**77 件**
前年度比	▲ 9 件

（2025 年度中）

・先導的人材マッチング事業の取組み

当行と福井キャリアマネジメント及び福邦銀行は、内閣府が実施する地方創生支援事業（先導的人材マッチング事業）の間接補助事業者に採択されており、3 社共同で本事業に取り組んでいます。

申請承認件数	**28 件**
前年度比	▲ 26 件

（2025 年度中）

・副業・兼業人材の活用支援

産官学金連携のリカレントプログラム「ふくい企業価値共創ラボ」の他、提携人材紹介会社連携による副業・兼業のハイレベル人材の紹介を通じて、地域のお客さまの各種課題解決をサポートしています。

副業・兼業人材の活用先数	**21 先**
前年度比	▲ 8 件

（2025 年度中）

○経営者保証に関するガイドラインへの取組み

「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に努めています。

新規融資件数	**3,024 件**
前年度比	▲ 390 件
うち無保証融資件数	**2,342 件**
前年度比	▲ 197 件
経営者保証に依存しない融資割合	**77.4%**
前年度比	＋3.0%

（2025 年度中）

事業承継支援

お客さまの永続的な発展・存続や円滑な承継を実現するため、後継者問題等の課題や事業拡大ニーズを有するお客さまに対して、ノウハウを集約した本部・グループ会社の専門担当部署が中心となり、事業承継支援（自社株評価や株式承継対策を含めた支援）を進めています。

○事業承継コンサルティング

会社の「事業（経営）」と「自社株式」を円滑に“後継者”へ引き継ぐ事業承継は、会社が永続的に発展するための重要な課題です。当行はお客さまの円滑な事業承継を支援しています。

支援件数	**80 件**
前年度比	▲ 9 件

（2025 年度中）

○M＆Aコンサルティング

Ｍ＆Ａで解決できる経営課題は多岐にわたります。当行グループがもつノウハウやネットワークを活かしながら、事業の発展につながるＭ＆Ａの活用を支援しています。

支援件数	**170 件**
前年度比	▲ 34 件

（2025 年度中）

○投資専門子会社の投融資による課題解決支援

投資専門子会社ふくいキャピタルパートナーズは、運営するファンド『愛称：ｔｓｕｍｕｇｕ～つむぐ～』を通じて積極的にエクイティを提供しています。さらに、福井銀行グループの広範なネットワークを最大限に活用することで、投資先企業の経営課題の解決と成長に伴走しています。

ファンド概要

ファンド総額	20 億円
投資対象	事業承継や事業・財務再構築などの支援ニーズのある中堅・中小企業
投資先数	3 先

（2026 年 3 月末）

経営改善支援

成長鈍化期や再生期のお客さまの事業継続を実現するため、事業性理解による経営課題の明確化や解決策の提供に取り組んでいます。

○経営改善コンサルティング

経営改善に向けた計画策定から達成のためのフォローまで専門担当者がトータルサポートします。また、中小企業活性化協議会などの外部支援機関を活用し、お客さまに最適な経営改善策の提供や事業再生に取り組んでいます。

経営改善支援先数	169 先
前年度比	＋ 32 先
中小企業活性化協議会の活用先数	59 先
前年度比	＋ 5 先
中小企業の貸付条件変更先数	489 先
前年度比	▲ 8 先

（2025 年度中）

地域の活性化のための取組状況

地域資源と地域内外ネットワークを最大限に活用し、産学官金の緊密な連携のもと、地域課題の解決と地域資源の高付加価値化を実現することで、持続可能な地域創生に取り組んでいます。

○産学官金連携による地域課題の解決

活力人口の増加と新たなマーケットの形成を目指し、まちづくりや観光振興、企業誘致支援、都市部人材の活用促進、地域で活躍する人材の育成支援などに取り組んでいます。さらに、クリーンでスマートな地域づくりを推進するため、脱炭素化支援の強化、地域エネルギー資源の地域産業化、企業版ふるさと納税を通じた地域インフラ・防災機能の強化、地域のＤＸ推進支援にも注力しています。

・観光ＤＸ推進による地域活性化モデル実証事業

「若狭漁村まるごとホテル」中間支援・過疎観光地域活性化モデル事業への参画

福井県若狭町に点在する漁師民宿 63 軒を擁する「若狭漁村まるごとホテル」構想のもと、観光ＤＸ推進による地域活性化モデル実証事業に参画しました。当行は計画策定支援・関係者調整・進捗管理を担い、観光協会が中間支援組織として、共通の宿泊管理システム（PMS）の導入や地域サイト整備、データを活用したマーケティング支援を行いました。事業者への負担を抑えながら、ＤＸを通じた収益向上と、地域経済の好循環の実現を目指しています。

課題解決に向けた地域との伴走支援件数	44 件

（2025 年度中）

○サステナビリティへの取組み

持続可能な地域社会の実現に向け、気候変動をはじめとする環境問題など、地域社会を取り巻くさまざまな課題の解決に誠実かつ公正に取り組み、社会価値・経済価値・企業価値の向上を目指しています。

お客さまや地方公共団体の脱炭素への取組みに対し、情報提供及び補助金申請支援をはじめ、脱炭素経営に関するお客さま同士の交流を通じて、脱炭素の取組みを県内企業へ広げています。

・ＥＳＧファイナンス・アワード・ジャパンの受賞

福井鋲螺との協働による地域脱炭素の取組みが評価され、環境省主催の第 7 回ＥＳＧファイナンス・アワード・ジャパン間接金融部門において特別賞を受賞しました。金融と産業の連携による先進性・実効性・他地域への展開可能性が高く評価されたものです。

金融機関と事業会社の連名受賞は初めてのことであり、サプライチェーン連携や企業間対話を通じた地域課題解決の新たなモデルとして、広く波及することが期待されています。

○観光活性化支援

ふくいヒトモノデザインは、これまで培ってきた地域のネットワークを活用し、福井県内の観光地や地場産品などの地域資源の魅力・価値を高める観光事業及び物販事業を行うことで地域経済の活性化に貢献しています。

デジタル社会への対応

福井県におけるデジタル社会の実現に向け、様々な取組みを進めています。

○福井銀行アプリのＵＩ/ＵＸ向上

毎年バージョンアップを行い、より使いやすいアプリとなるよう改善しています。

アプリでの振込手数料は窓口・ＡＴＭよりお安くなっています。特に福井銀行宛の振込手数料は 0 円となっており、多くのお客さまに便利にご利用いただいています。

福井銀行アプリ・インターネットバンキング登録数	246,195 先
前年度比	＋ 23,363 先

（2026 年 3 月末）

○「ふくアプリ」福井県デジタル地域通貨・ポイント事業

地域のＤＸの推進を目的に、福井新聞社と共同で設立したふくいのデジタルは、スマートフォンアプリ「ふくアプリ」を運営しています。

「ふくアプリ」は、福井県及び県内すべての基礎自治体に導入され多くの方にご利用いただいています。福井県のデジタル地域通貨「ふくいはぴコイン」の決済のほか、ふくいＭａａＳやデジタルスタンプラリー、デジタルクーポンなど、多様な機能を持つ「地域共創プラットフォーム」として提供しています。これからも、福井に住む方、福井に来られた方に対してデジタルを通して、生活を便利に豊かにする取組みを行ってまいります。

○地方公共団体との取組み

・ふくい電子納税推進プロジェクト

福井県や県内全 17 市町、金融機関ならびに経済団体とともに「ふくい電子納税推進プロジェクト」を発足し、福井県内の官民が一体となり電子納税に関する情報提供や導入支援などに取り組んでいます。福井県における国税のキャッシュレス納付比率は全国でも高い水準となっています。

事業者の利用実績

ｅ－Ｔａｘ・ｅＬＴＡＸ利用先数	5,473 先
前年度比	＋ 21 先

（2025 年度中）

「お客さま本位の基本方針」に基づく取組状況

福井銀行は2017年6月に「お客さま本位の基本方針」を策定・公表し、その取組みを確実に実践するため、定期的に取組状況を検証し、取組方針の見直しや商品・サービスの向上につなげております。
今般、2025年度の取組状況ならびに成果指標について取りまとめましたので、ご報告いたします。

※本資料で公表する数値は過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません。

お客さま本位の基本方針

福井銀行は「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」を企業理念として掲げております。この企業理念のもと、私たちがお客さまの安定的な資産形成のお役に立つため、資産運用関連の金融商品を取り扱う分野において、「お客さま本位の基本方針」(以下、基本方針)を定め、私たちはこれを遵守することにより、お客さま本位の業務運営を実践してまいります。

1. お客さま本位の業務運営の堅持
基本方針およびその取組状況を公表するとともに、基本方針の遵守状況や見直しの要否について定期的に検証してまいります。

2. お客さまの最善の利益の追求
金融商品を取り扱う者として高い専門性と倫理観を持つとともに、お客さまに対して誠実・公正に行動することにより、常にお客さまの最善の利益を追求することに努めてまいります。

3. お客さまの最善の利益の優先の確保
お客さまの最善の利益を優先することに努め、私たちの利益を不当に優先することや、それによりお客さまの利益を不当に害するといった、利益相反の発生が無いように、お客さま本位の業務運営のための態勢管理に努めてまいります。

4. お客さまからいただく手数料等の明確化
金融商品やサービスのご提供にあたり、お客さまからいただく手数料やその他の費用について、名目を問わず、その詳細と根拠についての透明性を高め、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かりやすく丁寧にご説明することに努めてまいります。

5. お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供
金融商品やサービスにおける基本的な利益・損失その他のリスク、ご負担いただく手数料等の取引条件や、ご提案する金融商品やサービスの販売対象となるお客さまの特徴、選定理由、経済環境・市場動向等、お客さまの様々な判断・比較・検討・気付き等に資する重要な情報を、各種資料を活用してお客さまが誤解無くご理解いただけるように、分かりやすく丁寧にご説明しご提供することに努めてまいります。

6. お客さまにふさわしいサービスのご提供
お客さまに寄り添った対話を通じて、金融商品に関するお客さまの知識や経験、お客さまの財産の状況や投資目的、ライフステージなどを十分に把握したうえで、私たちが本当にお客さまにふさわしいと考えるご提案やお取引、お客さま意向に基づくアフターフォローなどのサービス活動のご提供に努めてまいります。 また、それらのサービス活動の実践にかなうための、適切な商品ラインアップの整備に努めてまいります。

7. お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり
私たちが実践するお客さま本位の業務運営が、お客さまからのご理解やご評価をいただけるものとなるように、役職員に対し基本方針の周知徹底を図るとともに、お客さまの安定的な資産形成に寄与することができる人材の育成や役職員の評価制度の整備に、継続的に取り組んでまいります。

お客さまの最善の利益の追求

対応原則：2. 顧客の最善の利益の追求

＜「お客さまの最善の利益」に対する考え方＞

- 福井銀行では、10年の長期ビジョン「Vision 2032」において『私たちは 職員・お客さまの多様なチャレンジに伴走し 「地域価値循環モデル」 を実現します』と掲げており、このビジョンに基づく長期的な取組みが「お客さまの最善の利益の追求」に繋がると考えております。

- 福井銀行は、真にコンサルティングが必要なお客さまとの対話を通して、お客さまそれぞれの課題やニーズを理解し、最適なサービス・商品のご提案を行っております。

- また、長期積立てをベースに資産形成を行うお客さまや、ご自身のお考えで資産運用を希望するお客さまに対しては、お客さまにとって適切な取引方法をご提供すべく、アプリやオンラインサービスなどのお取引チャネルの充実も継続的に行っております。

＜福井銀行の企業文化としての定着＞

- 職員が「お客さまの最善の利益」の追求に沿った成長をするためには、お客さま本位の業務運営に関するアクションプラン（以下、「アクションプラン」という）の理解・浸透や高いコンプライアンス意識の醸成が必要と考え、以下のような取組みを行っております。

【アクションプランの理解・浸透のための取組み】

① 職員向け研修においては、お客さま本位の業務運営の重要性を伝えております。
② 職員に向け、関連する新たな方針や取組みを伝える際は、アクションプランの内容に紐づけて伝えております。
③ アクションプランの簡易版を営業店および専門部署に備え置きすることで、お客さまに福井銀行の考え方や取組みをお伝えするとともに、職員の理解・浸透を図る育成ツールとしても活用しております。
④ お客さま本位の業務運営の実践に向け、お客さまからいただいたご意見・ご提言やお褒めの言葉を定期的に福井銀行全体で共有し、改善や向上に向けた「お客さまサポートミーティング」を行っております。

＜野村證券との業務提携＞

- 野村證券株式会社との金融商品仲介業務に関する包括的業務提携を締結し、2023年5月より資産運用相談専門窓口「コンサルティングプラザ」（県内4か所）にて、野村證券からの出向者と福井銀行職員が協働し、野村證券の商品やサービスをご提供しております。

- 本提携の目的は、福井県内に強固な顧客基盤を有する福井銀行と、金融商品取引業務に関する豊富なノウハウや商品ラインナップを有する野村證券が、双方の強みを最大限に活かして発揮することで、人生100年時代への備えや次世代への資産承継等のアドバイスを通じて、地域のお客さまの豊かな生活や資産形成を持続的に支援していくことです。

- 業務提携以降コンサルティングプラザでは、専門的な知識やスキルを身につけた担当者がお客さまのお悩みやご意向をお伺いし、最適なご提案に努めております。

- 2024年度にはコンサルティングプラザ内にインサイドセールスチームを立ち上げ、電話やオンライン面談システムを活用し、遠方にお住まいのお客さまや直接お会いすることが難しいお客さまに対しても積極的に情報のご提供やご提案を行っております。

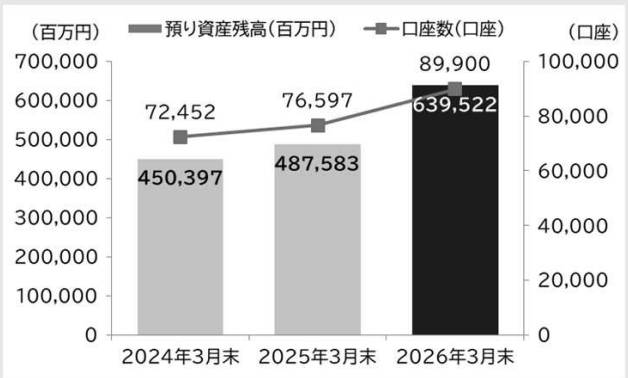
- 2025年4月には、2026年5月の福邦銀行との合併に先立ち、福邦銀行で証券取引のあるお客さま8,834名の証券口座を野村證券金融商品仲介口座に移管いただきました。今後とも、お客さまの課題やニーズに合わせた商品・サービスをご提供してまいります。

FUKUI × NOMURA alliance

成果指標

野村證券仲介口座の残高および口座数の推移

✓ 野村證券株式会社との業務提携後、証券口座のお預り残高および証券口座数は、年々増加しております。



＜「お客さまの最善の利益」を追求する行動＞

- お客さまとの取引に際し、お客さま本位の良質なサービスを提供し、お客さまの最善の利益を図ることにより、自らの安定したお客さま基盤と収益の確保につなげるよう努めております。

- 福井銀行職員は、アクションプランでお示ししております「アセットコンサルティングの行動指針」に基づき、ご預金・有価証券・不動産に加え、それらの保有資産へのお客さまの想いも合わせた「総資産」に対して、お聞きしている課題に加えて、お気づきでない将来の課題をお客さまと共有した上で、課題解決に向けた最適なご提案に努めるほか、お取引いただいた後も、アフターフォロー活動の中でお客さまの状況や社会環境の変化も踏まえながら、最適なご提案を続けてまいります。

＜地域のお客さまの成長を支える取組み＞

- 福井銀行では、次世代を担う子どもたちが、将来、責任ある社会の構成員となるために、金融や経済の仕組みを学ぶことが重要であると考え、幅広い年代に対して金融経済教育に関する支援を行っております。

- また、お取引いただいている企業の福利厚生の充実と、お勤めの従業員さまの資産形成をサポートすることを目的として、営業店と本部の専門チームが連携し、資産形成等に関するセミナーの開催や福利厚生制度の導入提案・説明会を実施いたしました。

- さらに、地域にお住まいの方を対象とし、外部講師もお招きしながら多種多様なセミナーを開催いたしました。

- 今後も、様々なライフステージに沿ったお客さま向けのセミナーを企画・開催してまいります。

➢ 金融経済教育の開催状況

実施年度	実施内容	対象者	実施回数 （参加者数）
2024年度	・金融リテラシーを身につける授業 （生活設計・家計管理・資産運用について学ぶ 等）	・小学生～高校生	28回 （延べ1,091名）
2025年度		・小学生～大学生	32回 （延べ1,709名）
	・ Summer Kids Event2025 野村 まなぼう教室 （サイコロゲームで輸入体験）	・小学生および保護者	1回 （85名）

➢ 資産形成セミナーの開催状況

実施年度	実施内容	対象者	実施回数（参加者数）
2024年度	・資産形成の必要性 ・NISAやiDeCoを活用した資産形成 等	・お取引企業の従業員 ・官公庁の職員 ・地域にお住まいの方	137回（延べ約2,300名）
2025年度			122回（延べ1,835名）

➢ 福利厚生制度説明会の開催状況

実施年度	実施内容	対象者	実施回数（参加者数）
2024年度	・職場つみたてNISA ・職場iDeCo ・iDeCo＋ 等	・お取引企業の従業員	74回（延べ約900名）
2025年度			65回（延べ603名）

➢ 退職世代向けセミナーの開催状況

実施年度	実施内容	対象者	実施回数（参加者数）
2024年度	・公的年金の概要 ・資産運用の必要性 等	・お取引企業の従業員 ・官公庁の職員	8回（延べ約500名）
	・セカンドライフ準備セミナー（ライフプランの基礎知識、グローバル投資と相場環境 等）	・地域にお住まいの方	2回（37名）
2025年度	・公的年金の概要 ・資産運用の必要性 等	・官公庁の職員	4回（181名）
	・セカンドライフ準備セミナー（ライフプランの基礎知識、グローバル投資と相場環境 等）	・地域にお住まいの方	2回（37名）
	・相続・贈与セミナー（賢い資産承継、相続・贈与の基本と応用）		1回（100名）

➢ セカンドライフ準備セミナー の様子

➢ その他セミナー

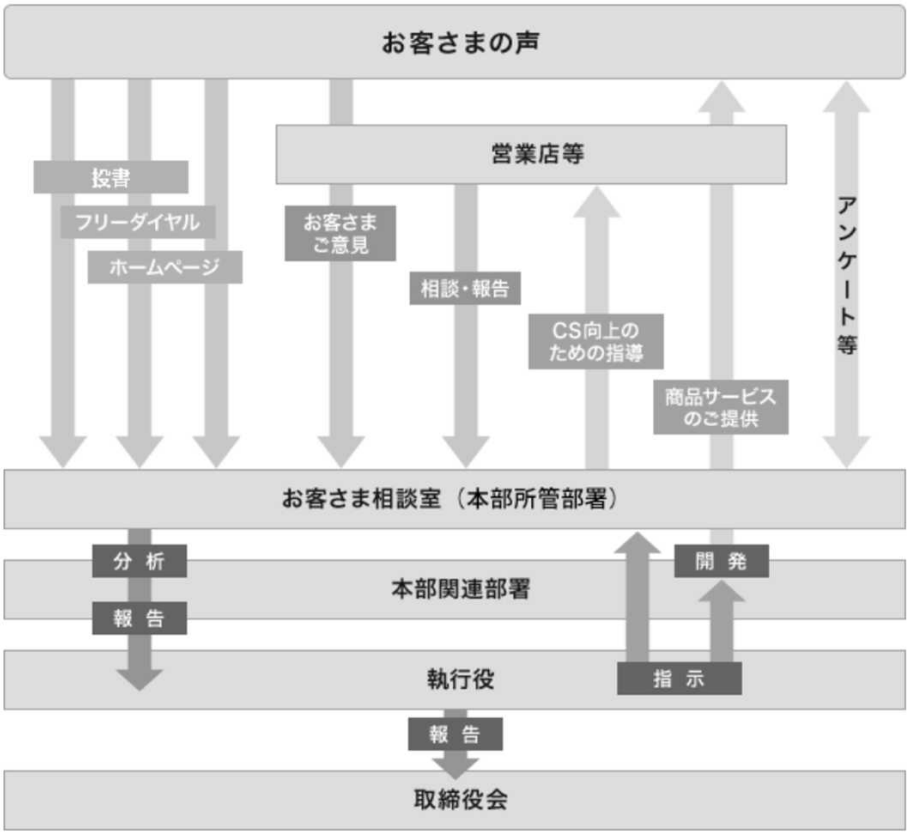
実施年度	実施内容	対象者	実施回数（参加者数）
2024年度	・福井銀行×野村證券アライアンス1周年セミナー（これからのマーケット展望～世界経済・日本経済の動向を踏まえて～）	・地域にお住まいの方 ・個人のお客さま	1回（178名）
	・資産運用セミナー（人生100年時代の賢い資産運用）		1回（141名）
2025年度	・お金を育てるキャラバン NISAを学ぼう in福井県		1回（178名）
	・資産運用セミナー（人生100年時代の賢い資産運用）		3回（198名）
	・ブラックロックが語る資産運用セミナー（世界最大の運用会社の視点・世界の優良企業を厳選する方法 等）		1回（93名）
	・のむラップ資産運用セミナー（人生100年時代の資産運用）		5回（181名）

➢ お金を育てるキャラバン NISAを学ぼう in福井県 の様子

＜お客さまからの声の収集・活用＞

- 福井銀行では、営業店・お客さま相談室フリーダイヤル・ホームページ等に寄せられた、苦情・ご意見・ご要望を行内にて共有しております。その上で適切かつ迅速に改善に取り組む体制を整備しており、本部では、お客さま本位の業務運営の実践状況を定期計測し、取組みに対する課題の把握と改善に向けた施策を立案・実行しております。

  ➢ お客さまの声を活かす体制



- 上記の具体的な活動としては、毎月、アセットコンサルティンググループ(※1)とコンプライアンス統括チーム(※2)、監査チームおよび事務企画チームにて、お客さまから寄せられる声の共有を図りながら対話を実施しております。また、アセットコンサルティンググループが主催する「顧客管理委員会(※3)」などに本部関係部署が参加することで、多面的な目線で販売態勢の検証を行っております。

  (※1)資産形成・資産運用のご相談窓口を有するコンサルティングプラザおよびお客さまの取引の管理やモニタリング等を行っている本部が所属するグループ
  (※2)福井銀行グループの顧客保護等管理体制の統括的かつ横断的な管理を行う本部部署
  (※3)お客さまに対し適切なご提案が行われているか、勧誘・販売状況を検証・議論し、事例の共有とともにリスク管理の重要性が浸透することを目的として毎月開催。

- お客さま本位の業務運営の実践とモニタリング・改善を通して、お客さま本位の業務運営が企業文化として定着するように引続き努めてまいります。

【お客さまアンケートの実施】

- お客さまへより一層きめ細やかなサービスをご提供していくため、お客さまからの声や評価を直接いただく「資産運用に関するお客さまアンケート」を実施いたしました。

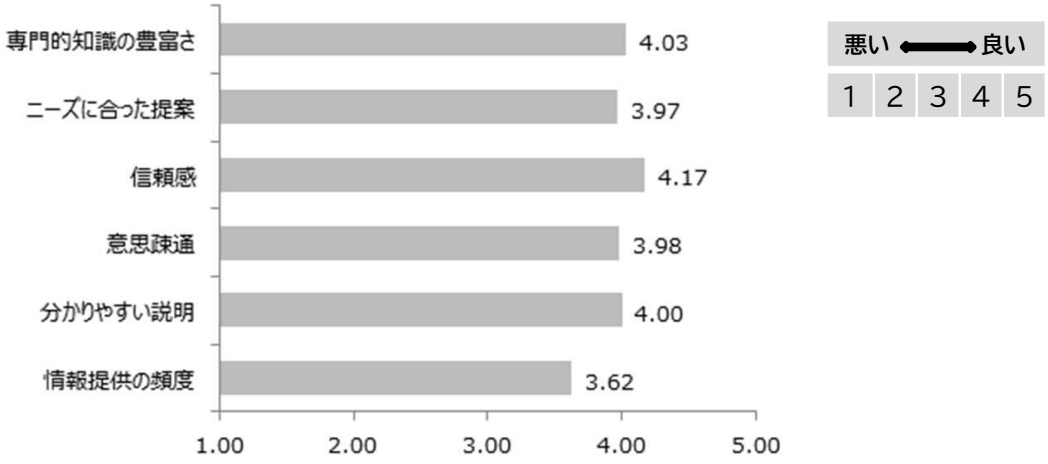
- 本アンケートでは、福井銀行がご提供する資産運用関連サービスの満足度や営業担当者の応対・説明についての満足度、今後福井銀行に希望するサービス等についてお伺いいたしました。

実施対象：①2025年度の一定の期間中に野村證券仲介商品の購入または保険契約の申込をコンサルティングプラザ経由で行った個人のお客さま（2,699名）

②2025年度の一定の期間中に野村證券仲介商品の購入または投信積立契約の申込および金額変更をオンラインサービス経由で行った個人のお客さま（2,468先）

回答割合：①41.05%　②39.34%

➢ お客さまアンケート結果（実施対象①における担当者の応対・説明を抜粋）



✓「初歩的な質問をしてもきちんと対応してもらい安心してお任せできた 」「担当者はとても勉強していて頼れる存在です」「私の投資に対する考え方を理解して選択して提案してくれるところが良いと思う」などのお褒めの言葉をいただきました。

✓ 一方、更なるサービスの充実を求める声などもいただいており、今後もお客さまアンケートの実施により、お客さまが真に求めるニーズを把握し、ニーズに即したサービスのご提供を行うとともに、満足度の向上に努めてまいります。

＜お客さま本位の業務運営を実践するための内部管理態勢＞

- お客さま本位の業務運営のための内部管理の一環として、経営陣や本部関連部署が参加する「フィデューシャリー・デューティー点検ミーティング」を実施しております。ミーティングでは、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営の徹底・高度化に向けた取組事例集」に掲載されている事例と、福井銀行の取組状況とを比較検証・自己評価の上、「お客さまの最善の利益の追求に向けて改善すべきことはないか」を議論し、改善に向けた取組みを行うことで、お客さま本位の業務運営の徹底・高度化を図っております。

お客さまにふさわしいサービスのご提供

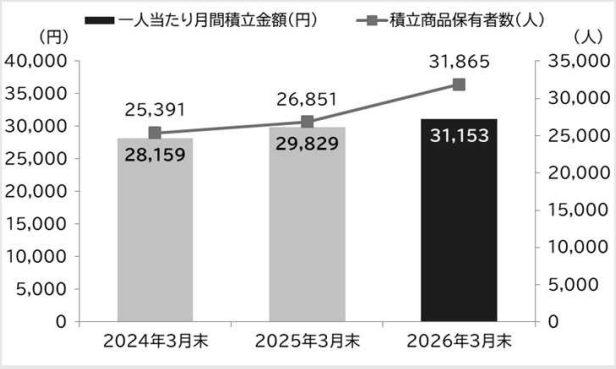
対応原則：6. 顧客にふさわしいサービスの提供

＜「そだてる」ニーズ・「ふやす」ニーズをお持ちのお客さまへのサービス＞

- お客さまからお伺いした情報やお考えをもとに各種シミュレーションを行い、お客さまにとって最適な資産運用方法をご提示しております。

成果指標 一人当たり月間積立金額および積立商品保有者数の推移

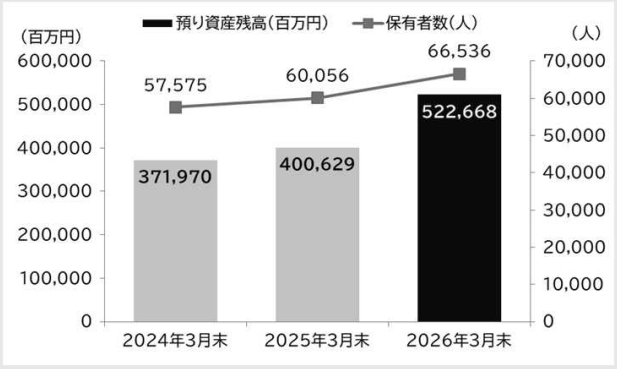
✓ お客さまの幅広い資産形成ニーズにお応えすべく、各種積立商品のご提案に努めた結果、積立商品を保有されているお客さまおよび将来に向けての積立金額は増加しております。



※積立商品･･･定額購入する投資信託･外貨預金(法人除く)

成果指標 預り資産残高および保有者数の推移

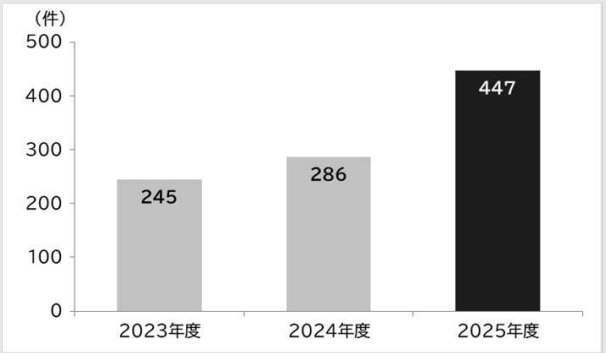
✓ 資産運用商品を保有されているお客さまおよび預り資産残高は増加しております。



※預り資産･･･金融商品仲介取引、外貨預金(法人除く)

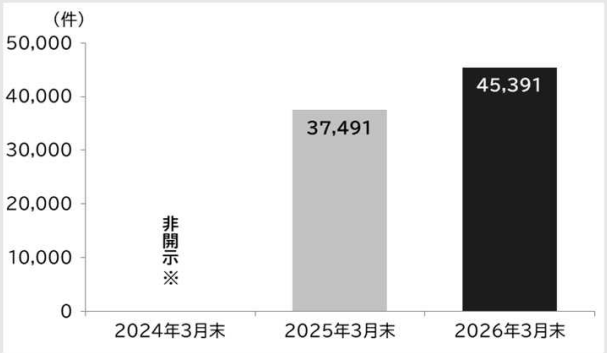
成果指標 iDeCo年間加入実績

✓ 掛金の積立時･運用中･受取時のすべての場面で税制優遇を受けられるiDeCoの新規加入者は、増加しております。



成果指標 NISA口座数

✓ 資産形成のご提案を行うにあたり、投資枠から得られた利益に対する税金が非課税になる制度『NISA』をおすすめした結果、NISA口座数は増加しております。



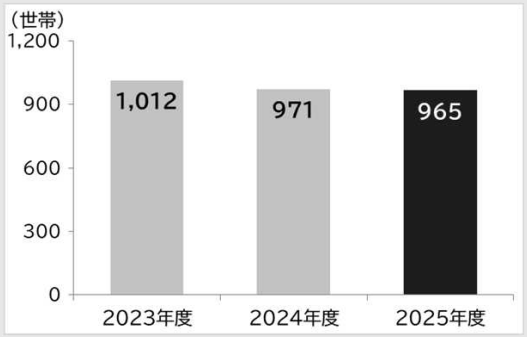
※2024年3月末は計測していたデータに疑義が生じたため表示しておりません。

＜「そなえる」ニーズをお持ちのお客さまへのサービス＞

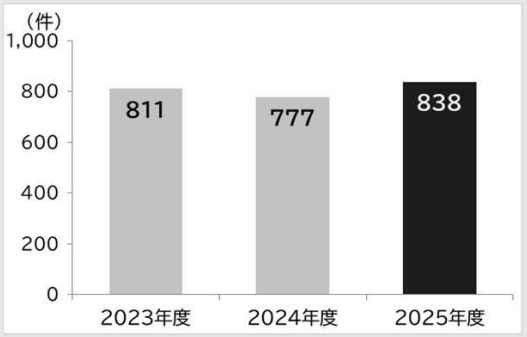
- 土日祝日も営業している保険相談の専門窓口「ほけんプラザ」にて、高度な専門知識・経験を有する職員が、複数回のご面談を通してお客さまのライフステージに応じて起こりうる病気やケガ・不慮の事故・介護・就労不能などの様々なリスクに対し、保険の仕組みや必要性、シミュレーションを用いた必要保障金額をお客さまと確認し、ご意向に沿ったオーダーメイドでの保険商品のご提案を行いました。

- 多くのお客さまに「相談に来てよかった」「ほけんプラザをもっと早く知りたかった」「家族にも相談させたい」等のお声をいただきました。

成果指標　ほけんプラザにおける相談会実施世帯数



成果指標　ほけんプラザにおける生命保険契約件数



＜「のこす」ニーズをお持ちのお客さまへのサービス＞

- 資産運用専門拠点「コンサルティングプラザ」では、お客さまの財産状況やご家族構成、「大切な資産をどのようにのこしたいか」等のお気持ちを丁寧にお伺いし、潜在的な課題も含めた解決策をご提案してまいりました。

- その中でも、不動産・自社株式等をお持ちのお客さまに対しては、相続対策を中心に幅広い専門知識を有する「資産承継コンシェルジュ」が、必要に応じて税理士や専門部署と連携しながら、お客さまの「想い」を形にする課題解決のお手伝いをいたしました。

✓ 2025年度は、ご相続等に関するご相談受付・ご提案の結果、下記のご契約とご紹介につながりました。

商品	終身保険	贈与機能付き保険	介護保険	ラップ信託
契約件数	666件	195件	185件	6件
契約金額	5,014百万円	2,031百万円	947百万円	200百万円

商品	遺言信託	遺産整理
紹介件数	2件	1件

＜商品のラインナップ整備＞

- お客さまの多様なニーズにお応えするべく、幅広い商品・サービスを取り揃え、ラインナップの充実を図ってまいります。
- また、ご提案商品がお客さまのニーズに合致したものであったかをモニタリングし、その結果を適宜ラインナップの見直しに活用しております。

【証券業務における商品ラインナップ】

✓ 金融商品仲介業務における包括的業務提携先である野村證券の幅広い商品・サービスラインナップをご提供することにより、お客さまの多様な運用ニーズにお応えしております。なお、お客さまのニーズやご意向に沿ったご提案を行うことを目的として、福井銀行の販売基準を設けております。

商品区分	商品カテゴリ
株式	国内上場株式、IPO（株式公開）、PO（公募・売出）、外国株式、ETFなど
債券	国債、社債、個人向け国債、外国債券など
投資信託	低コストインデックス、バランス型ファンド、アクティブファンド、ESG投資など
投資一任	野村ファンドラップ、野村SMA、ラップ信託

【生命保険業務における商品ラインナップ】

✓ 生命保険固有の機能である「保障」の拡充を軸に、万が一の時への備え・病気やケガによる治療費への備え・介護費用への備え・就業不能時の生活費への備え・相続対策など、幅広い商品ラインナップを取り扱い、ライフステージに応じたお客さまの様々な保障ニーズにお応えしております。また、ご提案商品の提供会社である保険会社と連携を強化し、お客さまの最善の利益を追求しております。

✓ 変化する社会環境やお客さまのニーズに対応するため、「保険商品導入廃止検討委員会」を設置し、商品ラインナップの見直しについて議論しております。委員会では、導入検討対象の保険商品が福井銀行の取組方針やお客さまニーズおよび想定するお客さま層に合致しているか、また、取扱商品の廃止可否について議論しております。2025年度は、個人向け商品においてはお客さまニーズを踏まえた結果1商品について廃止いたしました。

【外貨預金業務における商品ラインナップ】

✓ 外貨普通預金・外貨定期預金に加え、為替特約付外貨定期預金の取扱いを行い「一定の為替変動リスクを回避したい」というお客さまニーズにもお応えしております。

＜お客さまにふさわしい商品・サービスを提供するためのシステム＞

- お客さまとの対話を通じて、ライフステージや経験・お考えをお伺いし、各種資産設計ツールも活用しながら、お客さまにふさわしいサービスのご提供に努めております。

資産設計ツール	シミュレーション内容
ライフプラン シミュレーション	お客さまの収入・支出・家族構成・ライフイベント・将来への準備に対するお考えをもとに、お客さまにとって最適な資産運用方法をご提示いたします。
資産配分シミュレーション	お客さまのリスク許容度・相場見通しに沿った最適な資産配分をご提示いたします。
相続シミュレーション	お客さまの財産・ご家族状況・のこしたい想いをもとにお客さまにとって最適な相続方法をご提示いたします。
ライフデザイン シミュレーション	家族構成・資産状況・保険を必要とする背景も含めた意向の確認を行った上で、将来の人生設計と思いがけない事故・病気・ケガなどのリスクについて社会保障制度の仕組みを踏まえたシミュレーションを行い、オーダーメイドでのご提案をいたします。

- 証券取引においては、お客さまのご希望に合わせて、対面取引やインターネット取引に加え、お電話によるお取引もご利用いただけます。また、オンライン面談サービス「bellFace」もご用意しております。

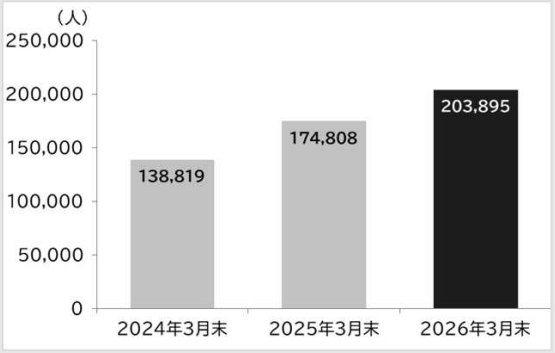
- オンライン面談サービス「bellFace」は、コンサルティングプラザの営業担当者とお客さまのパソコン・スマホや福井銀行営業店にあるタブレット端末で資料等を共有しながら電話面談ができるサービスです。遠方にお住まいのお客さまや、お仕事の休憩中等で時間の限られるお客さまから「来店をせずに担当者の顔や資料を見ながら面談ができていいね」とご好評をいただいております。

➢「bellFace」でのご面談の様子

● 「野村の資産運用アプリ NOMURA」や「野村證券オンラインサービス」では、野村證券金融商品仲介口座の保有資産状況をご確認いただける他、マーケット情報のご提供も行っております。

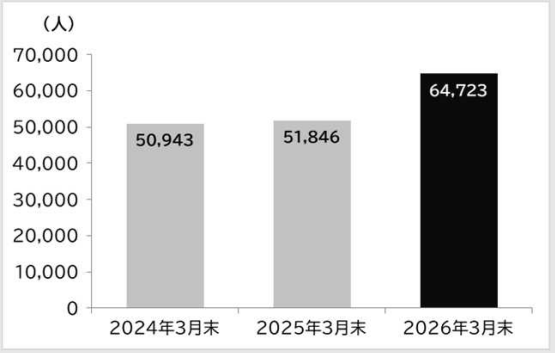
成果指標 福井銀行アプリ利用者数

✓ 随時利便性向上のためのリニューアルを行っており、利用者数は年々増加しております。



成果指標 野村證券オンラインサービス利用者数(法人除く)

✓ 野村證券との業務提携後、オンラインでの証券取引等は「野村證券オンラインサービス」をご利用いただいております。



➢ ご利用いただけるチャネル

チャネル	概要説明
コンサルティングプラザ	資産運用・資産形成に関するご相談窓口。県内4か所(福井・武生・坂井・敦賀)に設けております。
ほけんプラザ	保険に関するご相談窓口。県内3か所(福井・鯖江・敦賀)に設けております。なお、土日祝日も営業しております。
各種コールセンター	野村證券の仲介口座専用のコールセンターや、土日もつながるオンラインサービス専用のコールセンターがご利用いただけます。
野村證券 オンラインサービス	野村證券の仲介口座における各種取引(売買、取引履歴照会、商品詳細確認など)をオンライン上でいつでも行えます。
野村の資産運用アプリ 「NOMURA」	保有資産状況の確認やマーケットニュースの閲覧ができます。
福井銀行アプリ	預金の残高照会や振込・振替等のお取引がいただけるほか、野村の資産運用アプリ「NOMURA」にアクセスできます。コンサルティングプラザやほけんプラザの来店予約も可能です。

● お客さまの大切な資産と情報を守り、安心・安全なお取引環境をご提供するため、様々なセキュリティ対策を講じております。「福井銀行アプリ」では、ログインの際に生体認証やログインパスワード認証を必要とし、振込等の取引の際にはワンタイムパスワード認証を行うことでセキュリティを向上させております。また、野村の資産運用アプリ「NOMURA」では、セキュリティ強化のため、2025年10月18日よりパスキー認証を導入いたしました。

＜お客さまへのアフターフォロー活動＞

- 証券取引においては、タイムリーかつ丁寧なアフターフォローを積極的に実施し、きめ細やかな対話を通じて、お客さまの資産形成や資産運用のご意向に対する理解をより深めていくことに努めております。

- 生命保険においては、長期に渡る保険期間を通して、ご契約内容および商品特性に応じたリスクや状況のご説明、当初加入時からのご意向や状況に変化はないかの確認等を定期的に行っております。なお、お客さまの年齢やご契約内容を踏まえ、優先的なフォローが必要であると判断したお客さまを重点フォロー対象先として選定し、優先的に活動いたしました。また、重点フォロー対象先以外のお客さまにつきましても、適宜アフターフォローを行っております。

  ➢ 生命保険既契約者向けアフターフォローにおける重点フォロー対象先への活動実施状況

活動期間	2025年4月～2026年3月（1年を通して活動）
対象先	① 一時払特定保険(※)を保有されている個人のお客さま（75歳以上） ② 一時払特定保険を保有されている個人のお客さま（75歳未満かつ払込保険料金額500万円以上） ③ 円貨建の一時払保険を保有されている個人のお客さま（75歳以上かつ払込保険料金額500万円以上） ⑥ 目標値設定のある一時払保険を保有されている個人のお客さま
アフターフォロー対象先数	3,282先 （ご参考：前年度対象先数 2,748先）

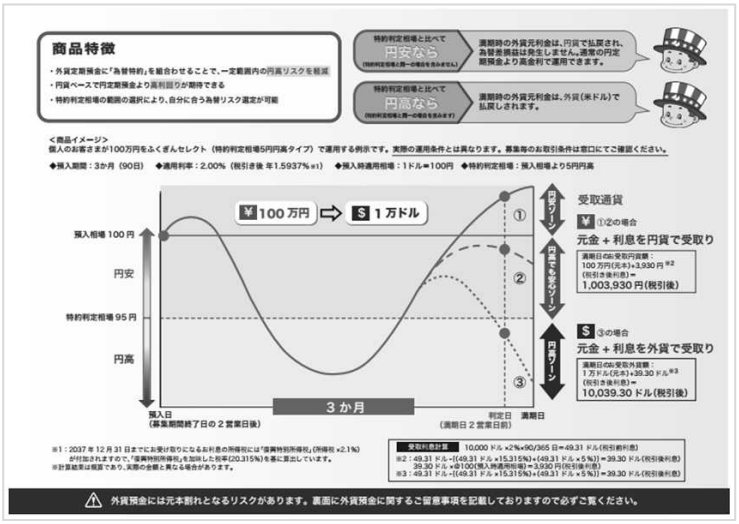
※特定保険とは、変額保険・外貨建保険・市場価格調整機能付き保険等の、市場リスクを伴う生命保険商品のことを指します。

お客さまにふさわしい商品の組成とご提供

補充原則1：基本理念
補充原則2：体制整備
補充原則3：金融商品組成時の対応
補充原則4：金融商品組成後の対応
補充原則5：顧客に対する分かりやすい情報提供

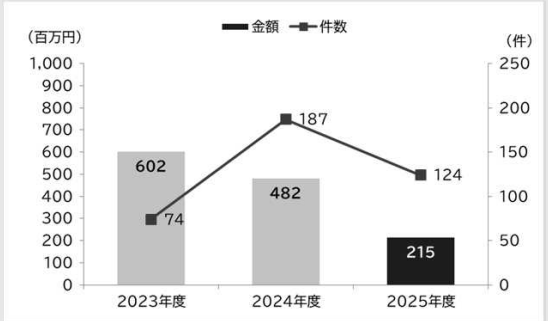
＜福井銀行における商品組成＞

- 福井銀行では「取組方針」に掲げた基本理念に基づき、お客さまの真のニーズにお応えできる商品として、為替特約付外貨定期預金「ふくぎんセレクト」の組成およびご提供を行っております。本取組状況P15～P16では、為替特約付外貨定期預金「ふくぎんセレクト」についての取組状況を記載しております。



✓ 2025年度は12回の組成を行いました。預入実績および判定状況は以下の通りです。

成果指標　ふくぎんセレクト 年間預入実績



回次	預入日	預入期間	タイプ	判定結果
83	2025/04/25	3ヵ月	10円型	円貨払戻
84	2025/05/23	3ヵ月	10円型	円貨払戻
85	2025/06/20	3ヵ月	10円型	円貨払戻
86	2025/07/25	3ヵ月	10円型	円貨払戻
87	2025/08/22	3ヵ月	10円型	円貨払戻
88	2025/09/19	3ヵ月	10円型	円貨払戻
89	2025/10/24	3ヵ月	10円型	円貨払戻
90	2025/11/21	3ヵ月	10円型	円貨払戻
91	2025/12/19	3ヵ月	10円型	円貨払戻
92	2026/01/23	3ヵ月	10円型	円貨払戻
93	2026/02/20	3ヵ月	10円型	円貨払戻
94	2026/03/23	3ヵ月	10円型	円貨払戻

【商品を組成するにあたっての体制】

- 福井銀行では、商品組成部門、管理部門を独立して定めており、組成部門が起案する組成協議の内容を管理部門が検証し、商品のリスク・リターン・コストの合理性について検証する体制としております。

【金融商品組成時の対応】

- 為替特約付外貨定期預金「ふくぎんセレクト」は、定期的に組成する商品として、組成の都度、当初販売対象として想定したお客さまや、商品の位置づけ等に即した組成内容になっているかを管理部門が確認し、内容を検証した上で組成を行いました。

【金融商品組成後の対応】

- 組成商品をご提供後、為替特約付外貨定期預金「ふくぎんセレクト」の販売対象として想定したお客さまからお申込みいただいているか、管理部門の担当者がモニタリングを行い、商品組成部門と共有しました。
- 組成部門・管理部門の担当者は共有されたモニタリング結果を受けて営業店の販売担当者とミーティングを行い、勧誘時のお客さまのご意見などをヒアリングし、適宜次回商品組成時の条件見直しに活かしてまいりました。
- 商品組成条件の見直し検討にあたっては、上記ミーティング時などにおける販売担当者からのヒアリングのほか、組成した商品の判定結果や過去の相場情報も活用しており、2025年度においては商品組成条件の見直しを7回行いました。2026年度についても、市場環境や販売担当者とのミーティングなどにより、都度商品組成条件を見直すことを予定しております。
- 為替特約付外貨定期預金「ふくぎんセレクト」にてお預かりした外貨については、外貨建の融資や市場での運用を行い、運用の外部委託はしておりません。また、福井銀行が行う運用の成果は、直接お客さまに帰属するものではございません。

【お客さまに対する分かりやすい情報提供】

- 制定している重要情報シートでは、商品等の内容、リスクと運用実績、費用について、数値等を用いてできる限り具体的に分かりやすく情報提供しております。
- 2026年度には、重要情報シートについて、よりリスクを把握できるよう、過去の相場情報を盛り込んだ改訂を予定しております。

お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり

対応原則：7. 従業員に対する適切な動機付けの枠組み

＜職員の成長＞

- 職員一人ひとりが「お客さまから感謝をいただくためなら大変なことでも一生懸命取り組むことで、働きがい・成長を実感できる」人財となることを目指し、研修・教育・評価を充実させております。

- 「お客さま本位の業務運営」を実践するため、基本方針や取組方針についても、各種研修にて職員へ考え方や実践内容の共有を行ってまいりました。

研修	・新入職員研修　　：約50名受講 ・個人営業基礎研修　：約50名受講 ・生命保険販売前研修　：約50名受講
自己啓発	平日勉強会・動画配信　等

※新入職員研修・営業基礎研修カリキュラム一例
- ✓ お客さま本位の業務運営とは
- ✓ 資産形成・資産運用の必要性
- ✓ NISA・iDeCo制度について
- ✓ 資産形成・資産運用の必要性を分かりやすく伝えよう（ロールプレイング）
- ✓ 生命保険の基礎知識

- お客さまの最善の利益の追求に沿ったご提案ができる職員の育成のため、コンサルティングプラザの職員においては、野村證券や運用会社および保険会社等とも連携し、最新のマーケット情報・商品についてロールプレイングを交えた勉強会や、コンプライアンス研修、提案好事例の共有会等を実施いたしました。また、生命保険業務においては、各種規制や、複数の保険商品からお客さまに最適な商品を比較提案する比較推奨販売の重要性等についての勉強会を実施いたしました。

コンサルティングプラザにて実施している勉強会等の一例	実施頻度
・マーケット勉強会 ・投資信託勉強会 ・保険商品勉強会	随時
・コンプライアンス研修	毎月
・提案好事例等の共有会	四半期毎

➢ ロールプレイング研修の様子

- 福井銀行では、お客さまへの最適な金融サービスの提供を目指し、専門知識の水準を向上させ、お客さまの資産形成に寄与することができる人財育成に努めており、2018年4月より、お客さまへの営業力強化に繋げていくためのサポート体制のひとつとして、資格試験の「合格祝金支給制度」を設けております。

お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供
お客さまからいただく手数料等の明確化

対応原則：5. 重要な情報の分かりやすい提供
対応原則：4. 手数料等の明確化

＜重要な情報の分かりやすい提供＞

- 金融商品のご提案にあたっては、お客さまが様々な金融商品・サービスを比較検討できるよう、お客さまの取引経験や金融知識を考慮の上、丁寧な情報のご提供に努めております。

【商品比較ツールの活用】

✓ お客さまへの簡潔な情報提供と、商品の比較を容易にしていただけるツールとして、商品のリスクや手数料等の重要な情報を簡潔に記載した、重要情報シートやマネープランガイドを活用しております。

➢ 重要情報シート

福井銀行

重要情報シート（個別商品編）　使用開始日：2024 年 01 月 12 日

外貨定期預金（為替特約付）　愛称：ふくぎんセレクト

1 商品等の内容

金融商品の名称・種類	外貨定期預金（為替特約付）　愛称：ふくぎんセレクト
組成会社（販売会社）	株式会社　福井銀行
販売価額等	－
金融商品の目的・機能	● 外貨定期預金に為替特約 減しつつ、円ベースでの ● 為替相場変動により、 ● 円貨での受取となった場 ● 外貨での受取となった場 ● リスクの詳細は、後掲「2
商品組成に関わる事業者が想定する購入層	● 短期間の取引で通常の円 ● 外貨預金での運用に興 ● 一定範囲を超えた為替変 ● 外貨での受取となった ● 満期まで本商品を保有い ※本商品は一定の為替変動リ 差益（円安メリット）を得
パッケージ化の有無	外貨定期預金と為替特約を組
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日か

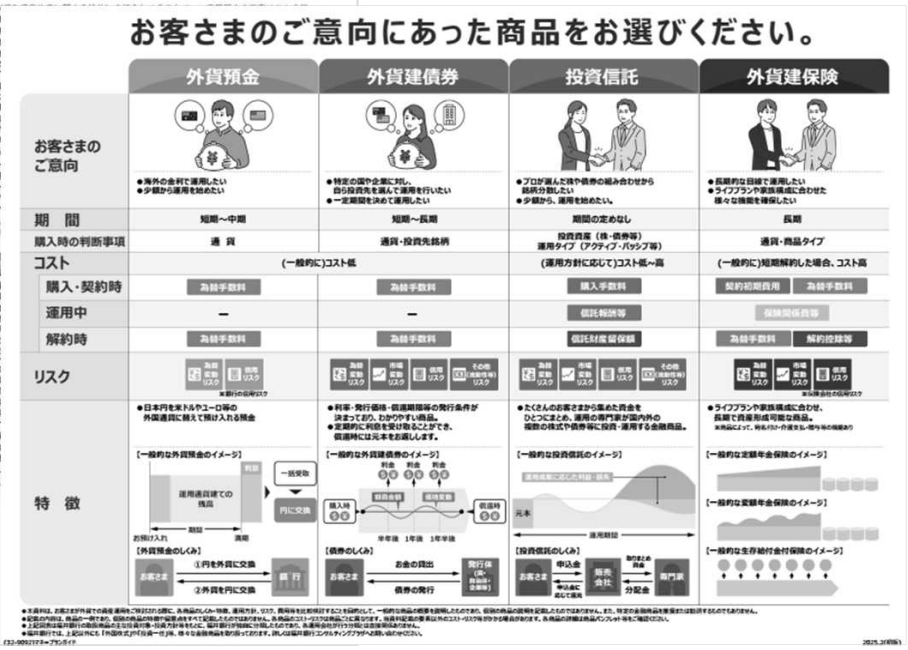
以下のような質問があれば、お問い合わせください
・当行が提供する運用商品のうち、この商品が私の好

2 リスクと運用実績（本商品は、元本が

損失が生じるリスクの内容	● 為替相場の変動による影響 「為替変動リスク」に記載 ● 円貨での払戻となった場合 ● 外貨での払戻となった場合 お引出相場（ＴＴＢ）次第 ● 本商品は原則中途解約がで ● 本商品は預金保険の対象で
【参考】最大損失額	2013 年 1 月～2022 年 12 月の ※想定損失額は 100 万円相当 ※為替手数料等の諸費用は勘 預入期間：3 ヵ月　最大相 預入期間：6 ヵ月　最大相
【参考】外貨払戻率	第 1 回（2016 年 6 月）から ※ 外貨払戻率は、あくまで

以下のような質問があれば、お問い合わせください
・上記の損失リスクについて、私が理解できるように説明

➢ マネープランガイド



＜お客さまが負担される手数料等の明確化＞

- 手数料等に関しましては、契約締結前交付書面や目論見書等でご確認いただけるほか、金融商品のご提供に際し、購入時手数料や信託報酬等の計算式や概算金額をお示しするなど、分かりやすい説明を行うよう努めております。

お客さまの最善の利益の優先の確保

対応原則：3. 利益相反の適切な管理

＜お客さまの最善の利益の優先の確保＞

- お客さまへ金融商品・サービスをご提供するにあたっては、お客さまの利益を不当に害してはいないかを、「利益相反管理規程」に基づき適切に管理しております。
- 商品のラインナップにあたっては、様々な投資運用会社や保険会社等からご提案商品を採用し、特定の会社や商品に偏ることのないよう努めております。
- なお、職員がお客さまの最善の利益につながる行動を実践するよう、手数料の高い商品など特定の商品の販売が職員の評価上有利に取り扱われることはありません。また外貨預金業務において、福井銀行内にてお客さまへの販売商品を組成・提供しておりますが、職員の評価上、組成した商品の販売が他の商品の販売より評価されることはありません。
- また、外貨預金業務以外の業務においては、グループ内にお客さまへの販売商品を組成・供給する会社や運用する部門等は有していないため、自グループのために特定の商品を販売することはありません。
- 福井銀行では、上記の体制によりお客さまの利益を優先することに努めております。

✓ 投資信託における、商品種類ごとの販売額上位10商品とその販売シェアは次の通りです。

2025年度（投資信託販売状況）

	ファンド名称	委託会社	販売シェア
1	のむラップ・ファンド（普通型）	野村アセットマネジメント	7.8%
2	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド　Dコース	フィデリティ投信	7.6%
3	のむラップ・ファンド（積極型）	野村アセットマネジメント	6.1%
4	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド　Bコース	フィデリティ投信	5.9%
5	野村インデックスファンド・日経225	野村アセットマネジメント	4.3%
6	のむラップ・ファンド（やや積極型）	野村アセットマネジメント	4.2%
7	野村日本バリュー厳選投資	野村アセットマネジメント	3.5%
8	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Dコース	アライアンス・バーンスタイン	3.2%
9	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ・ジャパン	2.8%
10	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Bコース	アライアンス・バーンスタイン	2.8%

✓ 生命保険（一時払商品・平準払商品）における、商品種類ごとの販売額上位10商品とその販売シェアは次の通りです。

2025年度（生命保険販売状況：一時払）

	保険商品名称	保険会社	販売シェア
1	夢ふくらむ終身（外貨建）	ニッセイ・ウェルス生命	36.5%
2	やさしさ、つなぐ2（外貨建）	三井住友海上プライマリー生命	12.6%
3	プレミアプレゼント4（外貨建）	第一フロンティア生命	12.5%
4	やさしさ、つなぐ2（円建）	三井住友海上プライマリー生命	11.8%
5	プレミアプレゼント5（円建）	第一フロンティア生命	6.6%
6	夢ふくらむ終身（円建）	ニッセイ・ウェルス生命	6.0%
7	プレミアプレゼント5（外貨建）	第一フロンティア生命	3.1%
8	プレミアカレンシー3（円建）	第一フロンティア生命	2.5%
9	プレミアプレゼント4（円建）	第一フロンティア生命	2.3%
10	ふるはーとJロードⅢ（円建）	住友生命	2.2%

2025年度（生命保険販売状況：平準払）

	保険商品名称	保険会社	販売シェア
1	新メディフィットA	メディケア生命	28.2%
2	ネオdeいりょう	ネオファースト生命	16.0%
3	健康をサポートするがん保険　勇気のお守り	SOMPOひまわり生命	11.6%
4	終身保険RISE	オリックス生命	9.8%
5	死亡・介護障害選択型収入保障保険	三井住友海上あいおい生命	5.4%
6	新メディフィットRe	メディケア生命	4.5%
7	ネオdeしゅうほ	ネオファースト生命	4.4%
8	じぶんと家族のお守り	SOMPOひまわり生命	4.2%
9	新メディフィットPlus	メディケア生命	4.2%
10	メディフィットがん保険	メディケア生命	2.6%

投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

お客さまが投資信託およびファンドラップを提供する金融事業者を選ぶにあたり、比較することのできる3つの指標（共通KPI※）を公表いたします。

※KPI：Key Performance Indicatorの略称。重要業績評価指標のことで、目標の達成に向けた行動や成果を評価するための指標。

1. 運用損益別お客さま比率

基準日時点において投資信託またはファンドラップを保有しているお客さまについて、保有投資信託またはファンドラップにかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示したものです。

2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

3. 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、基準日時点の銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

- **共通KPIの算出方法**

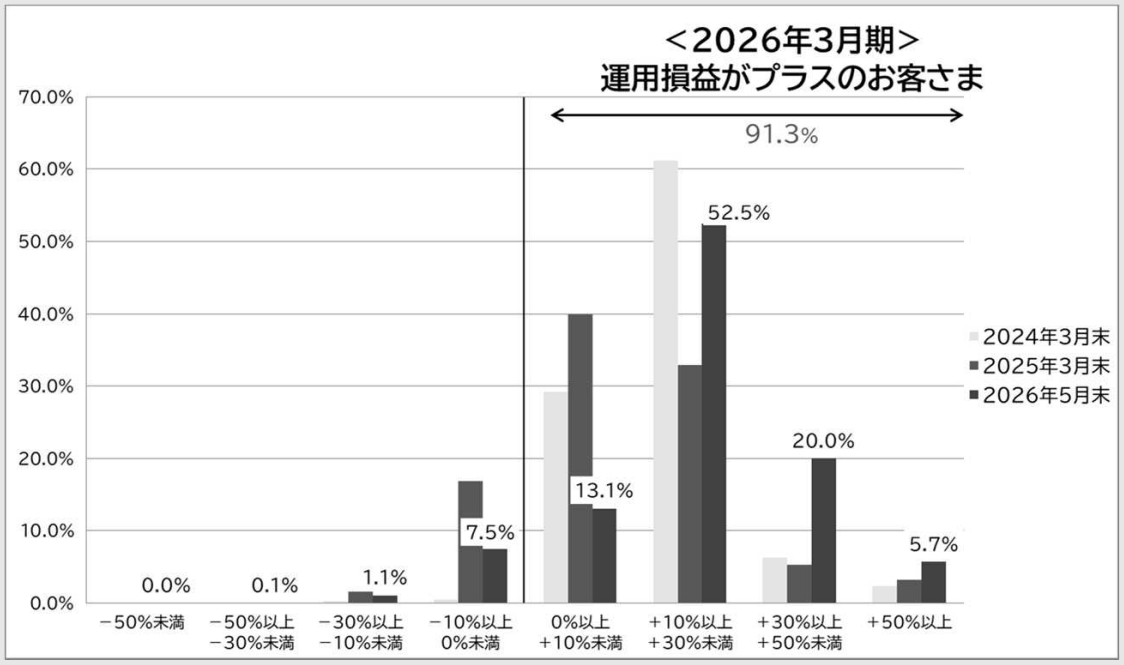
コスト	販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

＜運用損益別お客さま比率＞

✓ 2026年3月末時点における投資信託の運用損益がプラスのお客さまの比率は91.3%、ファンドラップの運用損益がプラスのお客さまの比率は94.7%です。

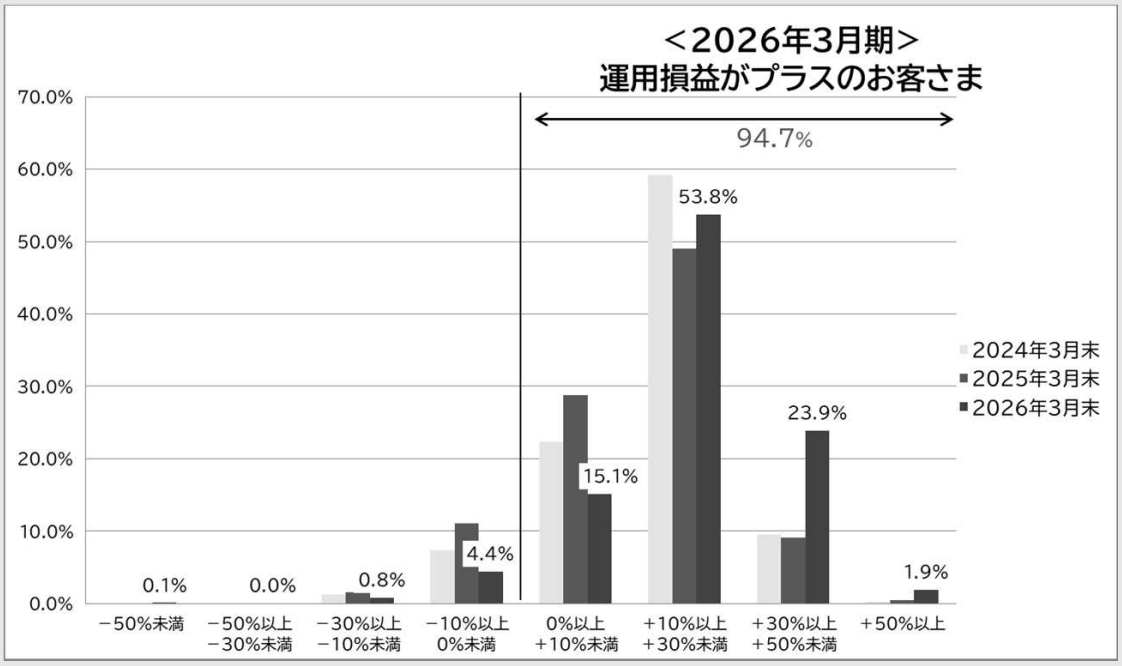
◆投資信託の運用損益別お客さま比率

＜2024年3月末、2025年3月末、2026年3月末基準＞



◆ファンドラップの運用損益別お客さま比率

＜2024年3月末、2025年3月末、2026年3月末基準＞



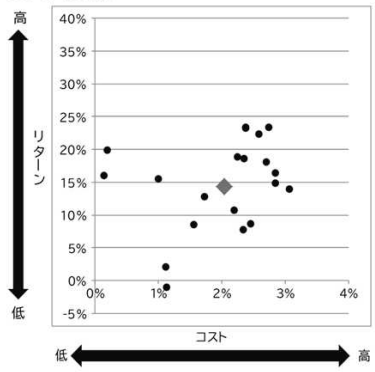
＜投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞
＜投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

✓ 2026年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コストは1.97%（前期比-0.12ポイント）、平均リスクは15.38%（前期比-0.26ポイント）、平均リターンは12.93%（前期比-5.56ポイント）です。

◆投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

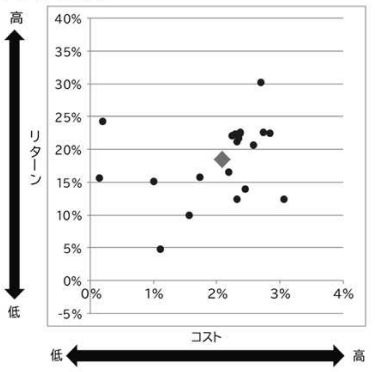
＜2024年3月末、2025年3月末、2026年3月末基準＞

2024年3月末



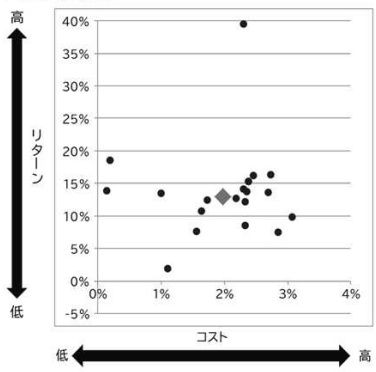
残高加重平均値◆	コスト	リターン
	2.04%	14.36%

2025年3月末



残高加重平均値◆	コスト	リターン
	2.09%	18.49%

2026年3月末

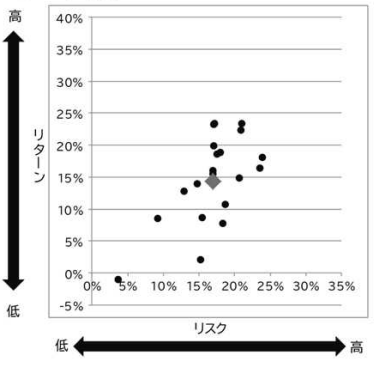


残高加重平均値◆	コスト	リターン
	1.97%	12.93%

◆投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

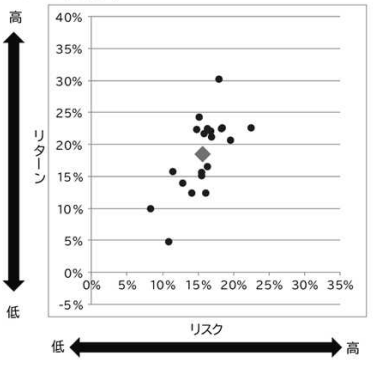
＜2024年3月末、2025年3月末、2026年3月末基準＞

2024年3月末



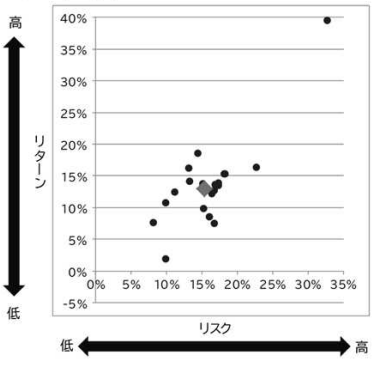
残高加重平均値◆	リスク	リターン
	16.99%	14.36%

2025年3月末



残高加重平均値◆	リスク	リターン
	15.64%	18.49%

2026年3月末



残高加重平均値◆	リスク	リターン
	15.38%	12.93%

◆預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

＜2026年3月末基準＞

No.	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57%	8.19%	7.46%
2	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	2.39%	18.28%	15.15%
3	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74%	11.27%	12.36%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	2.39%	18.40%	15.22%
5	野村インド株投資	2.86%	16.83%	7.38%
6	フィデリティ・世界割安成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	2.31%	13.33%	14.02%
7	キャピタル世界株式ファンド	2.36%	15.28%	13.66%
8	iFree日経225インデックス	0.15%	17.50%	13.79%
9	インデックスファンド225	1.01%	17.48%	13.37%
10	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	2.75%	22.80%	16.26%
11	iFree外国株式インデックス（為替ヘッジなし）	0.21%	14.50%	18.48%
12	のむラップ・ファンド（やや積極型）	1.66%	10.02%	10.64%
13	新光US－REITオープン	2.34%	16.16%	8.36%
14	高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）	2.71%	17.00%	13.51%
15	ティー・ロウ・プライス世界厳選成長株式ファンドBコース（資産成長型・為替ヘッジなし）	2.34%	16.56%	12.06%
16	ダイワJ－REITオープン（毎月分配型）	1.12%	10.01%	1.82%
17	野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）	2.31%	32.85%	39.31%
18	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	13.19%	16.04%
19	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.20%	16.82%	12.54%
20	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	3.08%	15.34%	9.70%

外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

お客さまが外貨建一時払保険を提供する金融事業者を選ぶにあたり、比較することのできる2つの指標を公表いたします。

1. 運用評価別お客さま比率

基準日時点において外貨建一時払保険を保有しているお客さまについて、契約毎の運用評価を算出し、運用評価別にお客さまの比率を示した指標です。

2. 銘柄別コスト・リターン

保険契約開始から60か月以上経過した契約（基準日時点で有効であるもの）のうち、残高（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額の合計額）上位20銘柄について、基準日時点の銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

● **共通KPIの算出方法**

コスト	① 各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間（月単位）で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出 ただし、個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な契約の手数料率は、保険会社における当該銘柄の保有全契約のうち、保険契約開始から60か月以上経過した契約（基準日時点で有効であるもの）を対象に、当該銘柄を組成する保険会社にて算出される、各契約に適用されている新契約手数料率及び継続手数料率を各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均した値を使用 ② 各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均
リターン	① 各契約のリターン率について、（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額－契約時点の一時払保険料）÷（契約時点の一時払保険料）を年率に換算 ② 各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均

✓ 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。

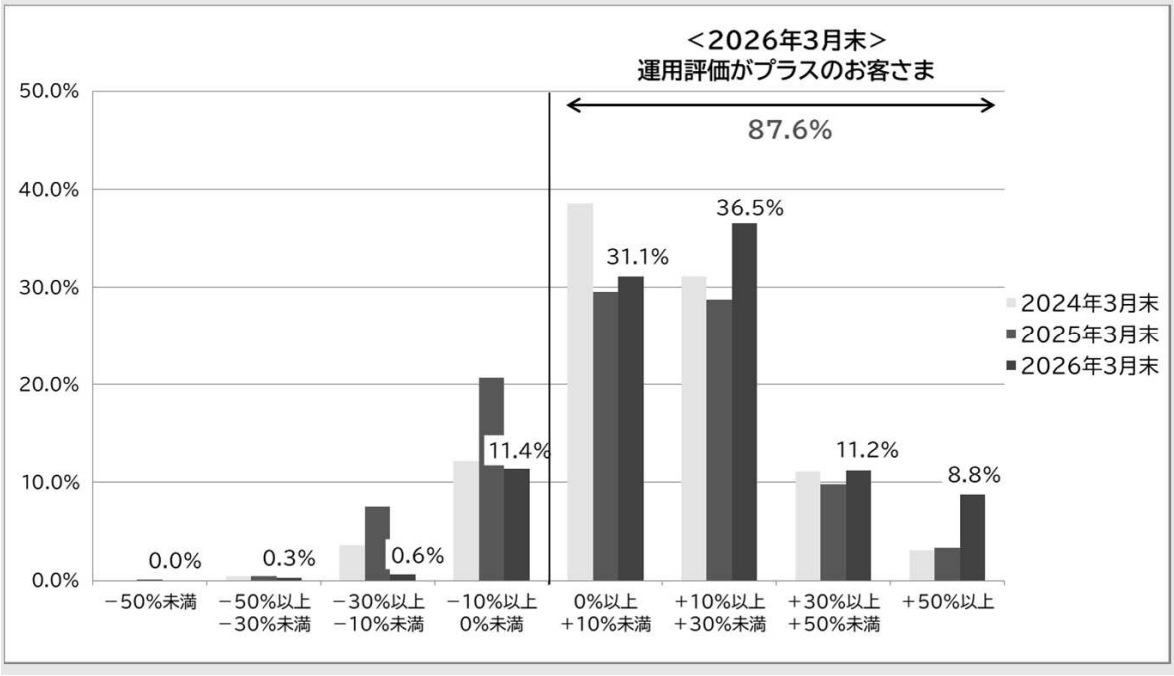
✓ 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

＜運用評価別お客さま比率＞

✓ 2026年3月末時点における運用評価がプラスのお客さまの比率は87.6%です。

◆外貨建一時払保険の運用評価別お客さま比率

＜2024年3月末、2025年3月末、2026年3月末基準＞

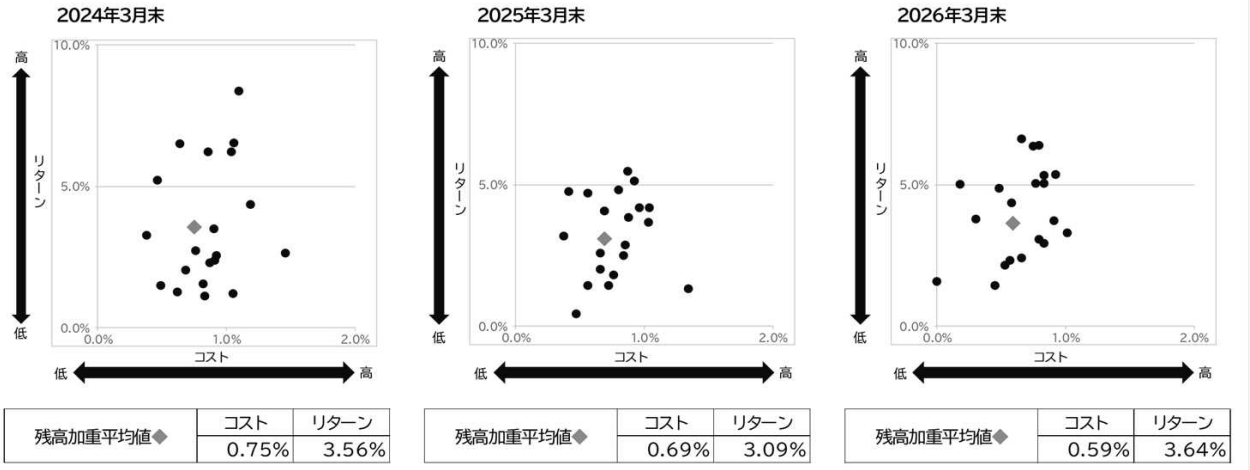


＜銘柄別コスト・リターン＞

✓ 2026年3月末時点における残高加重平均コストは0.59%（前期比-0.1ポイント）、残高加重平均リターンは3.64%（前期比+0.55ポイント）です。

◆外貨建保険の残高上位20銘柄

＜ 2024年3月末、2025年3月末、2026年3月末基準＞



残高加重平均値◆	コスト	リターン
2024年3月末	0.75%	3.56%
2025年3月末	0.69%	3.09%
2026年3月末	0.59%	3.64%

◆預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

＜2026年3月末基準＞

No.	銘柄名	コスト	リターン
1	やさしさ、つなぐ	0.53%	2.16%
2	プレミアプレゼント	0.79%	3.07%
3	ファイブ・ステップUS	0.18%	5.01%
4	夢のプレゼント	0.48%	4.88%
5	ロングドリームGOLD2	0.75%	6.37%
6	しあわせ、ずっと	0.92%	5.37%
7	プレミアカレンシー・プラス2	0.57%	2.32%
8	ライフロング・セレクトPG3	0.30%	3.78%
9	生プレワールド5	0.83%	2.93%
10	プレミアストーリー3	0.83%	5.33%
11	夢のプレゼント2	0.58%	4.35%
12	しあわせ、ずっと2	0.91%	3.74%
13	ロングドリームGOLD	0.45%	1.45%
14	ロングドリームGOLD3	0.83%	5.05%
15	生プレワールド4	0.66%	2.42%
16	たのしみグローバル(定率)	0.77%	5.06%
17	外貨建エブリバディプラス	0.66%	6.62%
18	アドバンテージ・セレクトPG	0.00%	1.58%
19	プレミアカレンシー3	1.01%	3.29%
20	たのしみグローバル(指数)	0.79%	6.39%

店舗等のご案内 (2026年７月末日現在)

福井銀行の本支店窓口は、平日午前9時から午後3時の営業となっております。(12月31日～翌年1月3日を除く)
※一部店舗では昼休業を実施しております。

福井県

本店エリア

店番	店舗名	住所・電話番号
100	本店営業部	〒910-8660 福井市順化1丁目1番1号 TEL (0776) 24-2030
002	第二営業部	
008	日の出支店 (第二営業部店舗内)	
128	福井市役所支店	〒910-0005 福井市大手3丁目10番1号 TEL (0776) 24-7600
136	県庁支店	〒910-0005 福井市大手3丁目17番1号 TEL (0776) 21-8552

福井東エリア

店番	店舗名	住所・電話番号
101	福井中央支店	〒918-8239 福井市成和1丁目1010番地 TEL (0776) 25-7000
121	東郷支店 (福井中央支店店舗内)	
323	美山支店 (福井中央支店店舗内)	
030	成和支店	
109	さくら通り支店	〒910-0851 福井市米松1丁目1番1号 TEL (0776) 23-8545
112	勝見支店	〒910-0854 福井市御幸2丁目10番14号 TEL (0776) 23-3322
139	板垣支店	〒918-8104 福井市板垣4丁目808番地 TEL (0776) 34-3441

福井西エリア

店番	店舗名	住所・電話番号
104	花月支店	〒910-0021 福井市乾徳4丁目4番1号 TEL (0776) 23-8547
141	花月支店学園出張所 (花月支店店舗内)	
146	飯塚支店 (花月支店店舗内)	
131	文京支店	〒910-0017 福井市文京3丁目23番8号 TEL (0776) 24-1331
009	新田塚中央支店	
010	若杉支店	〒918-8056 福井市若杉浜3丁目202番地 TEL (0776) 35-0700
020	堀の宮中央支店	〒910-0017 福井市文京6丁目16番32号 TEL (0776) 21-5700

福井南エリア

店番	店舗名	住所・電話番号
114	木田支店	〒918-8004 福井市西木田2丁目4番6号 TEL (0776) 36-1240
116	橋南支店 (木田支店店舗内)	
115	花堂支店	〒918-8012 福井市花堂北2丁目10番8号 TEL (0776) 36-3249
123	今市支店 (花堂支店店舗内)	
176	花堂中央支店	
074	春日中央支店 (花堂中央支店店舗内)	
144	種池支店	〒918-8031 福井市種池2丁目603番地 TEL (0776) 34-2131
133	清水町支店 (種池支店店舗内)	
175	社支店	

福井北エリア

店番	店舗名	住所・電話番号
106	松本支店	〒910-0004 福井市宝永3丁目34番15号 TEL (0776) 22-5230
105	田原町支店 (松本支店店舗内)	
138	新保支店 (松本支店店舗内)	
177	開発支店	
117	森田支店	〒910-0157 福井市八重巻東町12番2 TEL (0776) 56-0033
125	大和田支店	〒910-0836 福井市大和田2丁目101番地 TEL (0776) 54-6702
127	中央市場支店 (大和田支店店舗内)	
040	高木支店	
050	森田中央支店 (高木支店店舗内)	
147	経田支店	〒910-0015 福井市二の宮2丁目14番10号 TEL (0776) 21-9677
134	花月支店新田塚出張所 (経田支店店舗内)	
007	フェニックス通り支店	〒910-0018 福井市田原1丁目5番2号 TEL (0776) 21-2830

鯖江エリア

店番	店舗名	住所・電話番号
200	鯖江支店	〒916-0027 鯖江市桜町2丁目2番36号 TEL (0778) 51-2280
204	住吉支店 (鯖江支店店舗内)	
207	東鯖江支店 (鯖江支店店舗内)	
203	河和田支店	〒916-1221 鯖江市西袋町39号1番地の3 TEL (0778) 65-1555

店番	店舗名	住所・電話番号
202	神明支店	〒916-0021 鯖江市三六町2丁目403番1号 TEL (0778) 51-2270
217	神明中央支店	
210	鯖江中央支店 (神明中央支店店舗内)	
240	越前町中央支店 (神明中央支店店舗内)	

丹生エリア

店番	店舗名	住所・電話番号
211	朝日町支店	〒916-0141 丹生郡越前町西田中18号2番地2 TEL (0778) 34-0456
212	織田支店 (朝日町支店店舗内)	
213	越前町支店 (朝日町支店店舗内)	

武生エリア

店番	店舗名	住所・電話番号
220	武生支店	〒915-0074 越前市蓬莱町1番1号 TEL (0778) 23-3111
230	武生中央支店	
250	今立中央支店 (武生中央支店店舗内)	
253	村国中央支店 (武生中央支店店舗内)	
223	武生西支店	〒915-0841 越前市文京2丁目3番26号 TEL (0778) 22-2780
228	武生南支店 (武生西支店店舗内)	
227	村国支店	〒915-0084 越前市村国2丁目10番28号 TEL (0778) 24-0663
229	武生北支店	〒915-0805 越前市芝原3丁目6番33号 TEL (0778) 22-8851

店番	今立エリア	住所・電話番号
234	今立支店	〒915-0242 越前市粟田部町11字19番2 TEL (0778) 43-0880
225	味真野支店 (今立支店店舗内)	
235	岡本支店 (今立支店店舗内)	

店番	南条エリア	住所・電話番号
232	南条支店	〒919-0223 南条郡南越前町東大道32号18番地の1 TEL (0778) 47-3050
231	河野支店 (南条支店店舗内)	
233	今庄支店 (南条支店店舗内)	

店番	高志エリア	住所・電話番号
122	松岡支店	〒910-1132 吉田郡永平寺町松岡葵2丁目103番地 TEL (0776) 61-1200
143	福井医大支店 (松岡支店店舗内)	
150	松岡中央支店	
322	永平寺支店	〒910-1212 吉田郡永平寺町東古市12号60番地の1 TEL (0776) 63-3220
321	上志比支店 (永平寺支店店舗内)	

店番	奥越エリア	住所・電話番号
300	大野支店	〒912-0083 大野市明倫町8番12号 TEL (0779) 66-2600
302	大野支店三番通出張所 (大野支店店舗内)	
311	勝山支店	〒911-0804 勝山市元町1丁目10番40号 TEL (0779) 88-0003
160	勝山中央支店	
170	大野中央支店 (勝山中央支店店舗内)	

店番		住所・電話番号
330	丸岡支店	〒910-0303 坂井市丸岡町猪爪2丁目502番 TEL (0776) 66-2300
140	丸岡中央支店	
332	坂井町支店	〒919-0523 坂井市坂井町新庄3丁目103番地 TEL (0776) 66-0074

店番	春江エリア	住所・電話番号
334	春江支店	〒910-0418 坂井市春江町江留下高道27 TEL (0776) 51-0020
118	川西支店 (春江支店店舗内)	
336	春江支店春江西出張所 (春江支店店舗内)	
110	春江中央支店	〒919-0431 坂井市春江町為国第21号3番地9 TEL (0776) 51-0089
120	三国中央支店 (春江中央支店店舗内)	
130	金津中央支店 (春江中央支店店舗内)	

店番	三国エリア	住所・電話番号
340	三国支店	〒913-0041 坂井市三国町覚善第5号28番地1 TEL (0776) 82-6688
341	三国支店三国本町出張所 (三国支店店舗内)	

店番	あわらエリア	住所・電話番号
333	金津支店	〒919-0628 あわら市大溝2丁目31番5号 TEL (0776) 73-0550
344	芦原支店	〒910-4104 あわら市温泉1丁目301番地 TEL (0776) 77-2422

店番	敦賀エリア	住所・電話番号
400	敦賀支店	〒914-0054 敦賀市白銀町11番地1号 TEL (0770) 25-4444
401	敦賀港支店 (敦賀支店店舗内)	
403	粟野支店	〒914-0124 敦賀市市野々町1丁目118番地 TEL (0770) 25-4310
404	松島支店	〒914-0802 敦賀市呉竹町2丁目12番16号 TEL (0770) 25-6444
411	美浜支店	〒919-1141 三方郡美浜町郷市13号6の1 TEL (0770) 32-1117
320	美浜中央支店	
453	三方中央支店 (美浜中央支店店舗内)	
414	三方支店	〒919-1303 三方上中郡若狭町三方40号1番地 TEL (0770) 45-1231
310	敦賀中央支店	〒914-0058 敦賀市三島町2丁目1番6号 TEL (0770) 22-5522

店番	若狭エリア	住所・電話番号
420	小浜支店	〒917-0072 小浜市千種1丁目1番10号 TEL (0770) 52-2111
424	東小浜支店 (小浜支店店舗内)	
425	名田庄支店 (小浜支店店舗内)	
431	上中支店 (小浜支店店舗内)	
350	小浜中央支店	
454	上中中央支店 (小浜中央支店店舗内)	
432	おおい支店	〒919-2111 大飯郡おおい町本郷126号8番地の3 TEL (0770) 77-1080
433	高浜支店	〒919-2225 大飯郡高浜町宮崎76号2番地の1 TEL (0770) 72-3800
632	舞鶴支店 (高浜支店店舗内)	
360	高浜中央支店	
510	舞鶴中央支店	〒624-0841 舞鶴市字引土小字両官田295番13 TEL (0773) 75-1290
520	東舞鶴支店 (舞鶴中央支店店舗内)	

石川県

店番	金沢エリア	住所・電話番号
500	金沢支店	〒920-0025 金沢市駅西本町2丁目2番2号 TEL（076）231-4235
502	金沢支店金沢東山出張所 (金沢支店店舗内)	
504	泉野支店 (金沢支店店舗内)	
509	上荒屋支店 (金沢支店店舗内)	
541	金沢中央支店	
505	野々市支店	〒921-8817 野々市市横宮町5番1号 TEL（076）248-4221
506	金沢医科大学病院支店	〒920-0265 河北郡内灘町字大学1丁目1番地 TEL（076）286-3221
507	金沢西インター支店	〒921-8005 金沢市間明町1丁目246番地 TEL（076）291-3441
511	松任支店	〒924-0865 白山市倉光1丁目105番地 TEL（076）276-0121

店番		住所・電話番号
521	小松支店	〒923-0926 小松市龍助町101番地 TEL（0761）22-2801
410	小松中央支店	
531	大聖寺支店	〒922-0036 加賀市大聖寺一本橋町15番地の3 TEL（0761）72-1740

富山県

店番	富山エリア	住所・電話番号
560	富山支店	〒939-8281 富山市今泉西部町6番地の4 TEL（076）491-8800
561	新庄支店 (富山支店店舗内)	
562	富山南支店 (富山支店店舗内)	

店番		住所・電話番号
570	高岡支店	〒933-0878 高岡市東上関329番地 TEL（0766）24-4141

滋賀県

店番		住所・電話番号
650	大津支店	〒520-0854 大津市鳥居川町6番26号 TEL（077）537-2910
651	草津支店 (大津支店店舗内)	

その他都府県

東京支店・名古屋支店・京都支店にキャッシュコーナーはございません。

店番		住所・電話番号
600	東京支店	〒101-0044 千代田区鍛冶町1丁目8番8号 TEL（03）3253-2861
610	大阪支店	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号 TEL（06）6251-8501
663	大阪中央支店	
620	名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目18番24号 TEL（052）221-8811
630	京都支店	〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町88番地 TEL（075）221-7831
530	京都中央支店	

その他

・ふくぎんプラザ福井は大和田支店、ふくぎんプラザ鯖江はアル・プラザ鯖江、ふくぎんプラザ敦賀は敦賀支店にATMを設置しております。

店番		住所・電話番号
048	振込専用支店	〒918-8152 福井市今市町66号7番地1
191	ジュラチック王国支店	〒918-8152 福井市今市町66号7番地1 ※実際の店舗を持たないインターネット支店です。 TEL（0120）291-271
	ふくぎんプラザ福井	〒910-0836 福井市大和田2丁目101番地 大和田支店2階 TEL（0120）291-808
	ふくぎんプラザ鯖江	〒916-0038 鯖江市下河端町16字下町16番1 アル・プラザ鯖江2階 TEL（0120）291-005
	ふくぎんプラザ敦賀	〒914-0054 敦賀市白銀町11番地1号 敦賀支店内 TEL（0120）291-303
	福井コンサルティングプラザ	〒910-0023 福井市順化1丁目3番3号 福銀センタービル1階 TEL（0120）291-248 呼出番号「1」
	武生コンサルティングプラザ	〒915-0074 越前市蓬莱町1番1号 福井銀行武生支店2階 TEL（0120）291-248 呼出番号「2」
	坂井コンサルティングプラザ	〒910-0418 坂井市春江町江留下高道27 福井銀行春江支店2階 TEL（0120）291-248 呼出番号「3」
	敦賀コンサルティングプラザ	〒914-0054 敦賀市白銀町11番地1号 福井銀行敦賀支店2階 TEL（0120）291-248 呼出番号「4」

営業拠点数の推移

（単位：店）

	2025年3月末日		2026年5月末日	
	支店	出張所	支店	出張所
福井県	72	6	104	5
石川県	9	1	11	1
富山県	4	-	4	-
（北陸三県）	85	7	119	6
東京都	1	-	1	-
愛知県	1	-	1	-
滋賀県	2	-	2	-
京都府	1	-	4	-
大阪府	1	-	2	-
（都市地区）	6	-	10	-
合計	91	7	129	6

店舗外キャッシュコーナーのご案内 (2026年7月末)

＊稼働日・稼働時間は設置場所によって異なります。

セ セブン銀行との共同ATM

福井市（中心部エリア）
- 福井市役所
- 福井西武
- セワイプラザグルメ館松本店
- 町屋
- セフレンドタウン福井
- セハピリン
- JR福井駅

福井市（東部エリア）
- セパリオ
- ゲンキー四ツ居店前
- セバロー米松店
- セ福井県立病院
- セ福井県済生会病院
- 心臓血圧センター
- セハーツ志比口店
- 美山
- 東郷

福井市（西部エリア）
- セ福井総合クリニック
- セ金井学園
- セバロー豊岡店
- セパワーセンターワッセ
- セMEGAドン・キホーテUNY福井店
- セA コープやしろ
- セハニーやしろ店
- PLANT-3 清水店
- 越廼
- 川西
- 新田塚中央

福井市（南部エリア）
- セ福井赤十字病院
- セ福井厚生病院前
- セワイプラザグルメ館福井南店
- セワイプラザグルメ館江守店
- セハーツ羽水店
- セベル1階
- ベル2階
- フクビ化学前
- 花堂中央
- 社

福井市（北部エリア）
- セアピタ福井大和田店
- セワイプラザ
- バロー新田塚店
- 高木
- 中央市場
- セラブリーパートナーエルパ
- クスリのアオキ新保店
- 開発

鯖江市
- セバロー東鯖江店
- セパワーシティ鯖江ワイプラザ
- セハーツさばえ店
- セアル・プラザ鯖江
- セワイプラザグルメ館東鯖江店
- セハーツ神中店
- 東鯖江
- 神明中央

越前町
- メルシ
- ヤマキシ朝日店
- 越前町

越前市
- セシピィ
- セバロー武生店
- セ武生楽市
- セワイプラザグルメ館武生南店
- セバロー国高店
- ホームセンターみつわ武生店

池田町
- 池田町役場

南越前町
- 河野
- 今庄駅

永平寺町
- セ福井大学医学部附属病院中央診療棟
- ハニーARENA福大病院前
- 上志比支所
- 松岡中央

大野市
- セかじ惣リブレ店
- セヴィオ
- ホームセンターみつわ九頭龍店
- セバローこぶし通り店

勝山市
- セ勝山サン・プラザ
- セ福井勝山総合病院
- セヤスサキホームセンター勝山店
- 勝山中央

坂井市
- 西長田
- セアミ
- セハーツはるえ
- セピアゴ丸岡店
- セハニー丸岡店前
- イーザ
- セ三国南本町
- セPLANT-2 坂井店
- 丸岡中央

あわら市
- セバロー金津店

敦賀市
- セアル・プラザ敦賀店
- セハーツつるが店
- セMEGAドン・キホーテUNY敦賀店
- セバロー敦賀店
- セバロー木崎店
- セワイプラザグルメ館敦賀店

美浜町
- 美浜旧店舗

若狭町
- レピア
- セPLANT-2 上中店
- 上中

小浜市
- セ小浜ショッピングセンター
- セバロー小浜店
- 東小浜
- 小浜中央

おおい町
- 名田庄
- サニーマートおおい店

高浜町
- サニーマート南店

川北町
- セPLANT-3 川北店

内灘町
- セ金沢医科大学病院

津幡町
- セPLANT-3 津幡町

射水市
- 真生会富山病院

舞鶴市
- らぽーる

キャッシュコーナー（CD・ATM）数の推移

		2025年3月末日		2026年5月末日	
		設置箇所数	設置台数	設置箇所数	設置台数
福井銀行	店舗内CD・ATM	54	118	61	131
	店舗外CD・ATM	99	109	109	122
合　計		153	227	170	253
コンビニ提携	セブン銀行	26,089	27,990	27,020	28,536
	イーネット	11,460	11,813	11,445	11,772
	ローソン銀行	13,846	13,889	14,016	14,061

提携ATM

福井ふるさとネットサービス
(福井信用金庫・敦賀信用金庫・小浜信用金庫・越前信用金庫・福井県JAバンク(JA／信連)ATM)
入出金手数料無料でご利用いただけます。
※福井県JAバンク(JA/信連)の入金はご利用いただけません。

FITネットATM（北國銀行・富山第一銀行ATM）
入出金手数料無料でご利用いただけます。

上記のほか、以下のコンビニ等に設置のATMでもご利用いただけます。

セブン銀行ATM
(セブン-イレブン・イトーヨーカドー等に設置のATM)

イーネットATM
(ファミリーマート等に設置のATM)

ローソン銀行ATM
(ローソン等に設置のATM)

イオン銀行ATM
(イオンモール等に設置のATM)

ゆうちょ銀行ATM